< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社 なでしこ	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 私の家なでしこ南田辺
所在地	(〒546-0033) 大阪市東住吉区南田辺 5-7-17		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

「1日笑顔で過ごしましょう」	を事業所理念に掲げて利用者様、	家族様、	職員が笑顔で過ごせるよう努め	
地域に愛される事業所を目指し)ます。			

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価		従業者等自己評価		
実施日	西暦 <u>2021</u> 年 <u>11</u> 月 <u>21</u> 日	実施人数	(11) 人	※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】 <コロナ禍により運営推進会議は中止となる>

 実施日 	西暦	出席人数(合計)	() 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	□自事業所職員(人) □市町村職員(人)	□地域包括支援セン	ンター職員 (人)	□地域住民の代表者(人)
<u> </u>	□利用者(人) □利用者の家族(人) [□知見を有する者(_人) □その他(_	_人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

				進捗評価	
項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	自己評価	運営推進会議にお
					ける意見等
I. 事	業運営の評価	研修計画に基づき外部研修参加の	リモート研修や自主学習等にて	コロナ禍により、外部研修の参加	運営推進会議
(評価:	項目 1~10)	機会を増やし計画達成に努める。職	研修を実施した。感染対策の徹	機会は減少したが、意識や知識向	開催中止
		員が安心して働ける環境作りを継	底、個別対応面談等、安心な職場	上のために研修の充実を図り、よ	
		続し定着向上に努める。	環境作りを行った。	り良いサービスが提出できるよう	
				に努めていく。	
Ⅱ.サ	1. 利用者等の特	利用者の変化に気づき迅速な対応	利用者の変化については迅速に	ご家族より、いつもきめ細かく連	運営推進会議
ービ	性・変化に応じた専門的なサービス	を行う。利用者、家族に対しての情	対応し、家族への報告も丁寧に	絡をいただいて安心しておりま	開催中止
ス提	提供	報共有はわかりやすく、きめ細やか	行っている。情報共有について	す。とのご意見をいただく。	
供 等	(評価項目 11~	な説明に努める。専門職が把握する	も連絡ノートを活用し即日に共		
の評	27)	情報を介護職と共有できる環境を	有できるようにしている。		
価		作る。			
	2. 多機関・多職	定着できている取り組みの継続と、	運営推進会議は書面でのやり取	新たな取り組みの実現はできなか	運営推進会議
	種との連携 (評価項目 28~	新たな取り組みができるように体	りにとどまり、新たな取り組み	ったが、多職種の連携によるサー	開催中止
	31)	制を整える。多職種との連携にて急	は行われていない急変時の対応	ビス提供の重要性を周知してい	
		変時にも即時に対応し安心を得る。	については、連携のもとに行え	る。	
			ている。		
	3. 誰でも安心し	啓発活動できる体制を整える。喀痰	新たな啓発活動の取り組みに至	喀痰吸引の資格習得者を増やして	運営推進会議
	て暮らせるまちづくりへの参画(評	吸引の資格習得できるよう支援し	らず、コロナ禍により研修の参	いくのは、必須であり、引き続き	開催中止
	価項目 32~41)	ていく。	加機会が減少した。	支援していく。	
Ⅲ. 結	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	利用者、家族が安心した暮らしを得	利用者、家族が安心できること	コロナ禍の中、感染対策を徹底し、	運営推進会議
(評価	項目 42~44)	られ、質の高いサービス提供をめざ	を念頭に取り組み、看取りに対	看取り対応等も最善を尽くして柔	開催中止
		して全職員が取り組んでいく	しても柔軟に対応し実践した。	軟にサービス提供に努めた。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

	項目	評価結果	改善計画
I . 事業運	営の評価	内部研修については、予定通りに実施できたが、外部研修につ	引き続き、職員の能力向上について、外部研修の支援の継続と、
(評価項目	1~10)	いては、コロナ禍により、中止や延期等もあり、参加機会が減	事業所感染対策、職員の健康管理の徹底及び、安心して働くこ
		少した。職員のストレス軽減の為に面談の時間を設け迅速に対	とのできる職場環境作りに努める。
		応できるように努めた。	
Ⅱ. サービ	1. 利用者等の	各職種が情報共有を行い、変化等には迅速に対応し、事例ごと	各職種が連携して利用者の状況変化の情報共有を行い、計画へ
ス提供等	特性・変化に応じた専門的な	に専門職が利用者、家族へ細やかに説明を行った。	の反映を適切に行い、サービス提供を実施する。
の評価	サービス提供	家族様からも、きめ細やかな連絡に、安心です。との、評価を	
	(評価項目 11	いただく。	
	~27)		
	2. 多機関・多	主治医との連携に基づき 24 時間体制にて急変時に迅速な対応	利用者の予測できる状況変化に対して、事前に主治医と連携
	職種との連携 (評価項目 28	を行った。コロナ禍において、新たな取り組みの実施に至らな	し、家族、職員間での共有を行って、急変時の体制を整える。
	~31)	かったが、多職種での連携にてサービス提供を実施した。	
	3. 誰でも安心	コロナ禍の状況により、新たな啓発活動の取り組みの実施に至	コロナ感染発生状況によるが、感染対策を万全に行い運営推進
	して暮らせる まちづくりへ	らず、運営推進会議も中止の状況が続いている。又、研修参加	会議の実施を検討する。
	の参画(評価項	機会も減少となった。	
	目 32~41)		
Ⅲ. 結果評価		サービス利用については、利用者、家族より、安心しています。	24 時間医療連携のもと、医療、看護、介護が一体となり、看取
(評価項目	42~44)	との評価をいただく。	り対応等も含め、安心した生活が送れるように支援を行う。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п ш х п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
-	+ W VII W 6 - T / T F / T T W VII	いる	<u>る</u>	\ \ \	V)		
	事業運営の評価 [適切な事業運	宮」					
(1)	理念等の明確化						
1	看護小規模多機能型居宅介護の特別	寺徴を踏ま	えた理念等	い 明確化。	とその実践		
1	〇 サービスに求められる「①		0				✔ ①~⑤の全てを含む理念等がある
	医療ニーズの高い利用者の	1	8	2			場合は「よくできている」
	 在宅生活の継続支援」、「②	「旦体的な	↓ ↓状況・取組	 内容]			✓ ①~⑤の一部を含む理念等が掲げ
	在宅での看取りの支援」、	-		<u></u>	Z		られている場合は、「おおよそでき
	「③生活機能の維持回復」、	于 不 /// 33	口小无心(ಎ ಂ		ている」もしくは「あまりできてい
							_
	「④家族の負担軽減」、「⑤						ない」
	地域包括ケアへの貢献」を						✔ 独自の理念等が明確化されていな
	含む、独自の理念等を掲げ						い場合は「全くできていない」
	ている						
2	O サービスの特徴および事業	_	_				✓ 「サービスの特徴および理念等を
	 所の理念等について、職員	1	9				踏まえた実践」の充足度を評価し
	がその内容を理解し、実践	「目休的か	└ ♪状況・取組]内灾]			ます
	している	-			田士し 独		✓ 独自の理念等が明確化されていな
					用者と一緒		
		に理念の	唱和を実施	している。			い場合は「全くできていない」

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
(2)	人材の育成						
1	専門技術の向上のための取組						
3	O 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る				寺に確認し		 ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	O 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		5 な状況・取組 修受講の機		している。		✓ 「専門技術の向上のための日常業 務以外での機会の確保」について、 充足度を評価します

			車業品	自己評価			
来		よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	3	l CV	N N	THE THE	
2 :	介護職・看護職間の相互理解を決	架めるため	の機会の確	· 崔保			
5	O 介護職・看護職・介護支援専 門員の間で、職員が相互に	3	8				✓ 「情報を共有する機会」の充足度 を評価します
	情報を共有する機会が、確	「旦体的な	↓状況・取組]内宓]	l.		✓ 例えば「利用者等の具体的なケー
	保されている				N+n+ - \ \ \ \ \		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	体されている				随時カンフ		スについて話し合うための、定期
		アレンス	や会議等で	ご共有してい	いる。		的なカンファレンスの開催」など
							が考えられます
(3)	組織体制の構築						
	軍営推進会議で得られた意見等 <i>の</i>	7万時					
		7)X1)X					
6	O 運営推進会議で得られた要		6	2	2		✔ 「得られた要望・助言等のサービ
	望、助言等を、サービスの提	[具体的な	; 状況•取組	<u>[内容]</u>			スへの反映」の視点から、充足度を
	供等に反映させている	コロナ禍	の中、対面	での会議が	ができてい		評価します
			意見等は書				
		、 な ('ハ'、	忠允守は昔	ま田 (14)	(v . Ø °		

			車業品	自己評価			
悉		よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	できて	できてい	きていな	 できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	V	V		1.17 1.2.1
② I	職員が安心して働くことができる						
7	O 職員が、安心して働くこと	3	6	1	1		✔ 「職員が、安心して働くことので
	ができる就業環境の整備に	[具体的な	↓状況・取組	[内容]			きる就業環境」の充足度を評価し
	努めている	職員の状	況に応じた		の配慮は柔		ます
		軟に対応	している。	精神的な	ケアについ		✔ 例えば、「職員の能力向上の支援」、
		ても、面	談等相談で	できる環境を	を整えてい		「精神的な負担の軽減のための支
		る。					援」、「労働時間への配慮」などが考
							えられます
(4)	情報提供・共有のための基盤整備						
1) 7	利用者等の状況に係る情報の随時	寺更新・共	有のための	環境整備			
8	O 利用者等の情報について、	_	_				✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で
	随時更新を行うとともに、	5	6				迅速に共有するための工夫」の2
	必要に応じて職員間で迅速	[具体的な	↓ ↓状況·取組	 [内容]			つの視点から、充足度を評価しま
	に共有できるよう工夫され		送り時、夕		および、		す
	ている		•		こおいて迅		
			している。	- 10/131	, 、 、		
		述に 芥月					

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	计侧切口	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	(V)	(1)		
(5)	安全管理の徹底						
1) 2	各種の事故に対する安全管理						
9	O サービス提供に係る利用者	2	0				✔ 「各種の事故に対する予防・対策」
	等および職員の安全確保の	3	8				の充足度を評価します
	ため、事業所においてその	「具体的な	↓ ↓状況・取組	 内容]			対策が求められる事項としては、例
	具体的な対策が講じられて				放委員を設		えば「医療・ケア事故の予防・対策」、
	いる			. – •	成し、是正		「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対
	•						策」、「個人情報保護」などが考えら
			、当日中に	-凹見ノアク	1/2/2 (,		
		周知して	いる。				れます
(2) S							
10	O 災害などの緊急時において	2	4	4	1		✓ 「緊急時におけるサービス提供の
	も、サービス提供が継続で		4	4	1		ための備え」について、充足度を評
		[具体的な	ネ状況・取組	<u>[内容]</u>			
	きるよう、職員、利用者、関	BCP を策	定している	5。随時、災	後害訓練を		価します
	係機関の間で、具体的な対	実施して	いる。				✔ 例えば、「安否確認方法の明確化」、
	応方針が共有されている		- 400		「連絡先リストの作成」、「医療材		
							料などの確保」、「災害時ケアのマ
							ニュアル化」などが考えられます
							ーユノル山」などかっている人の私しより

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п ш д п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \		
	サービス提供等の評価						
1. 🔻	利用者等の特性・変化に応じた専P	門的なサー	ビス提供				
(1)	利用者等の状況把握及びアセス	メントに基	づく計画の	作成			
1) 5	利用者等の 24 時間の暮らし全体	に着目した	た、介護・	看護両面か	らの一体的	なアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況		6	2	3		✔ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら
	や家族等介護者の状況等を	[具体的な	\$状況•取組	内容]			し全体に着目したアセスメント」
	含む、利用者等の 24 時間の						の充足度を評価します
	暮らし全体に着目したアセ						✓ ケアが包括的に提供される看護小
	スメントが行われている						規模多機能型居宅介護において
							は、家族等を含めた24時間の暮ら
							し全体に着目したアセスメントが
							必要となります
							必安となりより
12	 ○ 介護職と看護職がそれぞれ	3	4	4			✓ 「介護職と看護職間でのアセスメ
	の視点から実施したアセス		└ \$状況•取組	└─── B内灾]			ント結果の共有」について、充足度
	メントの結果が、両職種の				メント結果		を評価します
					ノノト桁米		- // / /
	間で共有されている	を書面に	て共有して	いる。			✓ 介護・看護の両面から行われたア
							セスメントの結果は、その後のつ
							き合わせなどを通じて、両職種で
							共有されることが望ましいといえ
							ます

			中光式	占司部伍			
TV.		L /		自己評価		運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く		
7		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	5 THE	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	(V)		
(2)	利用者等の「尊厳の保持と自己写	美規の達成	」を重視し	った計画の1 -	作成 		
13	O 家族を含む利用者等の考え	1	5	4	1		✔ 「家族等の考えを含めた計画の作
	を把握するとともに、その	[具体的な	状況•取組	[内容]			成」について、充足度を評価し利用
	目標の達成に向けた計画が	家族、利用	用者からの	アセスメント	により思い		者のみでなく、家族等の考えを適
	作成されている	に寄り添っ	った計画を作	作成している	5 .		切に把握するとともに、その考え
					- •		を含めた計画を作成することは重
							要であるといえます
14	O 利用者の有する能力を最大	1	3	7			✔ 「利用者の有する能力を活かし
	限に活かした、「心身の機能	「目休的な	└──── ネ状況・取組	」 日内灾]			た、心身機能の維持回復を重視し
		L 次 件176	<u> </u>	11/1 /11]			
	の維持回復」「生活機能の維						た計画の作成」について、充足度を
	持又は向上」を目指すこと						評価します
	を重視した計画が作成され						✓ 「利用者が尊厳を持って、その有
	ている						する能力に応じ地域において自立
	(()						
							した日常生活を営む」ために、必要
							な視点であるといえます
	I	<u> </u>					<u> </u>

			重業所	自己評価			
釆		よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	できて	できてい	きていな	ェ、 できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	3	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	l C C C C	A L HON CINA	11 ma (= 0.57 C = 5 C + 5 m)/C
3 5	 利用者の今後の状況変化の予測 &						
15	O 利用者の今後の状況変化の	1	5	5			✔ 「状況変化の予測」と「リスク管
	予測と、リスク管理を踏ま	[具体的な	↓状況・取組	<u>l内容]</u>			理」の2つの視点から、充足度を評
	えた計画が作成されている						価します
							✔ 介護・看護が一体的に提供される
							看護小規模多機能型居宅介護にお
							いては、特に看護職による予後予
							測などを踏まえて計画を作成する
							ことが重要です
							ことが里安でり
(2)	利用者等の状況変化への迅速な	· 対応とケア	マネジメン	トの実践			
1) 7	継続したアセスメントを通じた、	利用者等	の状況変化	この早期把持	屋と計画への)反映	
16	Ο サービス提供を通じた継続	1	5	4	1		✔ 「早期の把握」と「計画への適宜反
	的なアセスメントにより、	「具体的な	ℷ状況∙取組]内容]			映」の2つの視点から、充足度を評
	 利用者等の状況変化を早期						価します
	に把握し、計画への適宜反						IIII С &)
	映が行われている						

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
2	 居宅への訪問を含む、利用者等の		_			 近と計画への反映	
17	○ 通い・泊まりの利用に過度 に偏らないよう、適時適切 に利用者宅を訪問すること で、家族等を含めた居宅で の生活状況の変化を継続的 に把握している	1	3 ∵状況・取組	4	1		 ✓ 「訪問による、家族等を含めた居宅での生活状況の変化の継続的な把握」という視点から、充足度を評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等を含めた居宅での生活状況を把握するためにも重要です
-	利用者等の状況変化や目標の達成			I			
18	O 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主 治医など、事業所内外を含 む関係多職種と情報が共有 されている		<u>に状況・取組</u> の連携にお		1 共有が行え		✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係 多職種との情報共有」について、充 足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	計価項目	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	V)		
(3)	介護職・看護職の協働による一体	的なサービ	スの提供				
1)	介護職と看護職の相互の専門性を	を生かした	柔軟なサー	ービスの提信	洪		
19	O 介護職と看護職のそれぞれ	1	6	4			✓ 「介護職と看護職の専門性を活か
	の専門性を最大限に活かし	[具体的な	ネ状況・取組	 [内容]			した役割分担」について、充足度を
	 ながら、柔軟な役割分担が	役割分担	を行い協力	 分体制のも。	とサービス		評価します
	行われている		っている。	.,,,,,			✓ 介護・看護が一体的に提供される
	,,,,,,	1,20,211	J (1 W)				看護小規模多機能型居宅介護で
							は、効果的・効率的なサービス提供
							のために、各々の専門性を活かし
							た役割分担や、業務の状況等に応
							じた柔軟な役割分担を行うことが
							重要です
20	○ 利用者等の状況について、	3	8				✓ 「介護職と看護職の情報共有およ
	介護職と看護職が互いに情	[具体的な	は状況・取組]内容]			び対応策の検討」について、充足度
	 報を共有し対応策を検討す	 朝、夕の	申し送り、	 及びケア [_]	会議等で情		を評価します
	るなど、両職種間の連携が		行い連携し		1102		
	行われている	TK// 17 C	11. 11.				
	114740 64.2						

		車業所	白己誕価			
The breat to	1- /			全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
評価項目	•					評価にあたっての補足
	いる	る	V	V)	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
看護職から介護職への情報提供は	および提案					
O 看護職から介護職に対し	1	8	1			✔ 「看護職の専門性を活かした、介
て、疾病予防・病状の予後予	[具体的な	┆状況・取組	[内容]			護職への情報提供や提案等」につ
測・心身の機能の維持回復	看護職よ	り申し送り	や、連絡	ノートの活		いて、充足度を評価します
などの観点から、情報提供	用等にて	情報提供を	行っている	5。		✔ このような情報提供や提案等は、
や提案等を行っている						看護職の専門性を活かした役割の
						1つとして期待されます
利用者等との情報及び意識の共存	Ī					
利用者等に対するサービスの趣旨	量及び特徴	等について	の情報提信	共		
O サービスの趣旨および特徴	1	7	2	1		✔ 「利用者等の理解」について、充足
等について、分かりやすく	[具体的な	ネ状況・取組	<u>[内容]</u>			度を評価します
説明し、利用者等の理解を	利用者、	家族に対し	て、わかり	りやすい言		
得ている	 葉で細や	かに説明に	一努めている	5 .		
	710			- 0		
	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている 「利用者等との情報及び意識の共存が用者等に対するサービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を	●護職から介護職への情報提供および提案 ○ 看護職から介護職に対し て、疾病予防・病状の予後予 測・心身の機能の維持回復 などの観点から、情報提供 や提案等を行っている 同用者等との情報及び意識の共有 可用者等に対するサービスの趣旨及び特徴 ○ サービスの趣旨および特徴 等について、分かりやすく 説明し、利用者等の理解を 「具体的な 利用者、 1 [具体的な 利用者、 1 [具体的な 利用者、 1 [具体的な 利用者、	評価項目 よく できて いる	 できて できてい さていない る い できている い る い る い る い の る い の る い い る い い る い の る い い る い り ま		

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п ш х п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	3	V	(V)		
(2) 7	利用者等への「在宅での療養生活	古」に係る	指導・説明	1			
23	O 作成した計画の内容や在宅	1	4	5	1		✓ 「利用者等の理解」について、充足
	での療養生活の継続に向け	[具体的な	状況・取組	<u>[内容]</u>			度を評価します
	て留意すべき点等につい						
	て、分かりやすく説明し、利						
	用者等の理解を得ている						
	11.15 4.05T/L 5 1/1 C 1 2						
24	O 利用者等が行う医療処置や	1	7	2	1		✔ 「利用者等の理解」について、充足
	医療機器の取り扱い方法、	[具体的な	∜状況・取組	<u>[内容]</u>			度を評価します
	家族等が行うケアの提供方						
	法等について、分かりやす						
	く説明し、利用者等の理解						
	を得ている						
	ट वि ८४ छ						
3 2	□ 重度化した場合や終末期における	5対応方針	 の、利用者	一 等との相詞	 談と共有		
25	〇 利用者本人 (意思の決定・表		10	1			✓ 「サービス提供への適切な反映」
	示ができない場合は家族	「具体的な	└──── └状況・取組	· 内容]	-		について、充足度を評価します
	等)の希望や意向を把握し、				ハサービス		
	サービスの提供に反映して		なげている				
		がで、	なりている) ₀			
	いる						

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
万		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
26	O 在宅生活の継続の可否を検	, ,	5	4	1		✓ 「将来に発生し得る様々なリスク
	 討すべき状況を予め想定	「具体的な	· ὰ状況▪取組]内容]			を想定した上での、対応策の検討
	し、その際の対応方針等に		,,,,,,				と共有」について、充足度を評価し
	ついて、利用者等と相談・共						ます
	有することができている						,
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
27	○ 終末期ケアにおいて、利用	2	8		1		
	者等に適切な時期を見計ら	「旦体的な	└───── ヒ状況▪取組	 内容]	_		明」と「記録の有無」の2つの視点
	って、予後および死までの	LOCKINGO	- 17(7) - 17(1 <u>-</u>	<u>., уш т</u>			から、充足度を評価します
	経過を丁寧に説明し、説明						✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録として」
	した内容や利用者等の意向						残している」場合は「よくできてい
	等を記録として残している						る」
2. §	└────────────────────────────────────						
(1)	病院・施設等との連携による円滑	で切れ目の	りないケアの	の提供			
1)	病院・施設等との連携や情報共存	有等による	、在宅生活	舌への円滑7	な移行		
28	〇 病院・施設等との連携・情報	4	6		1		✔ 「利用者の円滑な在宅生活への移
	共有等により、病院・施設等	[具体的な	∜状況∙取組	 <u>l内容]</u>			行」について、充足度を評価します
	からの、利用者の円滑な在	病院との	情報共有に	て退院後の	の生活に安		✔ 例えば、「退院・退所前のカンファ
	宅生活への移行を支援して	心してい	ただけるよ	こう支援を急	実施してい		レンスへの参加」、「利用者等に係
	いる	る。					る病院・施設等との継続した情報
							共有」などの取組が考えられます
							<u> </u>

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	и ш х п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
2		<u>いる</u> 皆について	<u>る</u> の、主治医	<u>いい</u> 等との対応	い い なおより は かまる かまる かっぱん いっぱん いっぱん いっぱん かんしん かんしん かんしん しゅう		
29	O すべての利用者について、	2	7	2			✔ 「緊急時の対応方針等の主治医等
	緊急時の対応方針等を、主	[具体的な	∵状況・取組	 .内容]			との相談・共有」を評価します
	治医等と相談・共有するこ	 主治医と	の連携のも	 」と、急変明	寺の対応に		✔ 利用者の状態変化・家族等介護者
	とができている	 備えてい	る。				の状況の変化など、実際に発生す
		VIN					る前の段階から予め対応方針等を
							主治医等と相談・共有しておくこ
							とが重要です
	 地域の医療機関等との連携による	夕亦吐			ゴムビチン <i>は</i> 大生17	 	
					11日/47年前/ 	ノ 伸 栄 	
30	○地域の医療機関等との連携	3	7	1			✓「即座な対応が可能な体制の構
	により、休日夜間等を含め		状況•取組		t ar ex dat x		築」について、充足度を評価します
	て、すべての利用者につい		急変時に対	応できる体	本制を整え		
	て、急変時に即座に対応が	ている。					
	可能な体制が構築されてい						
	る						

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	計価項目	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	\ \ \	\ \ \		
(2)	多職種との連携体制の構築						
1)	軍営推進会議等における、利用者						
31	O 運営推進会議等において、		4	2	2		✔ 「利用者のために必要となる、介
	利用者のために必要と考え	[具体的な	ネ状況・取組	<u>l内容]</u>			護保険外のサービスやインフォー
	られる包括的なサポートに	コロナ禍	において、	運営推進	会議は実施		マルサポート等を含めたケアの提
	ついて、民生委員・地域包括	できてい	ないが、書	書面にて意!	見等を頂い		供について、多職種とともに検討・
	支援センター・市区町村職	ている。					支援を行っていくなどの取組」の
	員等への情報提供や提案が						充足度を評価します
	行われている						✔ そのような取組をしたいことがな
							い場合は「全くできていない」
							✔ 民生委員のみでなく、自治会長や
							町会長などの住民代表も対象です
3. 🖥	推でも安心して暮らせるまちづくり [。]	への参画					
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案					
① ·	サービスの概要及び効果等の、均	也域に向け	た積極的な	に情報の発信	言		
32	O 運営推進会議の記録につい	3	6				✔ 「誰でも見ることができる方法で
	て、誰でも見ることができ	[具体的な	┆状況∙取組	 l内容]			の情報発信」と「迅速な情報発信」
	るような方法での情報発信	運営推進	会議の記録	 。 。 。	は、玄関共		の2つの視点から、充足度を評価
	が、迅速に行われている	用部に関	覧できるよ	· :うに設置]	している。		します
) 14 Hist - 15e3	70 (C 0 0	· / · -			
33	○ サービスの概要や地域にお		4	2	3		✓ 「積極的な啓発活動」について、評
ာ	しょっころの依安や地域にわ		4) 3		▼「煩壓的な合無石割」にづいて、計

番号	評価項目		日己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
	いて果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	[具体的な状況・取組成立関前にチラシの設置をなき発活動の取りない。	<u>内容]</u> 置はしてい			価する項目です ✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地域説明会の実施」などの取組が考えられます。 ✓ 利用者や職員の確保のみを目的とした活動等は除きます
(2)		での療養生活を支える。	、地域拠点	さしての機能	能の発揮	
1)	看護小規模多機能型居宅介護事業	業所の登録者以外を含む	む、地域~	への訪問看護	を の積極的な提供	
34	○ 看護小規模多機能型居宅介 護事業所の登録者以外を対 象とした訪問看護を積極的 に実施している	2 [具体的な状況・取組P	1	3		 ✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併せて受けている事業所」のみが対象です。該当しない場合は、実施状況欄は無記入で、[具体的な状況・取組内容]欄に「指定なし」と記入してください ✓ 「登録者以外を対象とした訪問看護」を実施してないていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」〜「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
2	医療ニーズの高い要介護者の積極	極的な受け入れ				

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方	,	できて いる	できている	きていな い	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
35	O 「たん吸引」を必要とする	1	4	5	1		✓ 「積極的な受け入れ」について、充
	要介護者を受け入れること	「旦体的な	└─── ↓状況・取組	└──── 内容]			足度を評価してください
	ができる体制が整ってお	LOCITION	* 1717/0 - AA/IL	<u> </u>			✓ 「受け入れることができる体制」
	り、積極的に受け入れてい						が整っていない場合は、「全くでき
	3						ていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よくで」
							きている」は、その「積極性」の視
							点から、充足度を評価します
36	〇 「人工呼吸器」を必要とす	3	2	2	4		✓ 「積極的な受け入れ」について、充
	る要介護者を受け入れること						足度を評価してください
	とができる体制が整ってお	[具体的な	↓状況•取組	<u>[内容]</u>			✓ 「受け入れることができる体制」
	り、積極的に受け入れてい						が整っていない場合は、「全くでき
	3						ていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よくで」
							きている」は、その「積極性」の視
							点から、充足度を評価します
07			_				
37	○ 「看取り支援」を必要とす	4	7				✔ 「積極的な受け入れ」について、充

			事業記	自己評価			
亚		L /				運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	よく できて	おおよそ できてい	あまりで きていな	全く できていな	世 コメント記入欄	評価にあたっての補足
/ / /		いる	できてい る	l a cont	l ca cont		計画にあたっての
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている		○ :状況•取組	,			足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」~「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3)	 地域包括ケアシステムの構築に	 向けての、a	まちづくりへ				
<u> </u>	行政の地域包括ケアシステム構築						
38	O 管理者および職員が、行政	1	4	2	4		✓ 「内容等の理解」について、その充
	が介護保険事業計画等で掲	 [具体的な		 広	_		足度を評価します
		[天]	<u>・1人ルレ </u>	<u> </u>			
	げている、地域包括ケアシ						✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ
	ステムの構築方針や計画の						たっては、その中で各々が果たす
	内容等について理解してい						べき役割を、明確に理解すること
	る						が必要であるといえます
							✔ 地域包括ケアシステムの構築方針
							や計画などがない場合は、「全くで
							きていない」
2	」 サービス提供における、(特定の	建物等に限	定しない) 地域への)展開		

		事業所自己評価					
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
39	 ○ サービスの提供エリアにつ	いる	3 3	4	3		✓ 「特定の集合住宅等に限定しな
	いて、特定の集合住宅等に	「旦体的な	└──── ネ状況・取組	_	0		い、地域への積極的な展開」につい
	限定せず、地域に対して積	LOCITION	* \(\)U =\\\\	<u></u>			て、充足度を評価します
	極的にサービスを提供して						✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、 特定の集合住宅等に限定すること
	いる						なく、地域全体の在宅療養を支え
	V 10						る核として機能していくことが期
							待されます
							✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
							ている独立は「王くてらていない」
3 5	L 安心して暮らせるまちづくりに『	 句けた、関	係者等への)積極的な詞	課題提起、改	女善策の検討等	
40	O 介護・看護の観点から、地	2	1	3	4		✓ 「課題提起や改善策の提案等の取
	域の関係者に対し、必要に	[具体的な	ネ状況・取組	[内容]			組」について、その充足度を評価し
	応じて課題提起や改善策の	地域関係	者に対して	は、行えて	こいないが、		ます
	提案等が行われている	家族に対	しては、携	星案等の発信	言は実施で		✔ 今後は、サービスの提供等を通じ
		きている	0				て得た情報や知見、多様な関係者
							とのネットワーク等を活用し、必
							要となる保険外サービスやインフ
							ォーマルサービスの開発・活用等、
							利用者等のみでなく地域における
							課題や改善策を関係者に対して提
							案していくなどの役割も期待され
							ます
							✓ そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

		事業所自己評価					
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	HI IM AL	できて いる	できている	きていな い	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
41	○ 家族等や近隣住民などに対	2	1	2	5		
	し、その介護力の引き出し		└─── ネ状況•取組		-		護力の引き出しや向上のための取
	や向上のための具体的な取	近隣住民	等への取り	 組みは行え	とていない		組」について、その充足度を評価し
	組等が行われている						ます
							✔ 今後は、利用者への家族等や近隣
							住民の関わりを促しながら、関係
							者全員の介護力を最大限に高める
							ことにより、在宅での療養生活を
							支えていくための環境を整えてい
							くなどの役割も期待されます
							✔ そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш	結果評価			
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利 用者ごとの計画目標が達成 されている	 はぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] ⇒ 2 ⇒ 8 ⇒ 1 → 0 		✓ 「計画目標の達成」について、評価 します
2 1	・ 在宅での療養生活の継続に対する			
43	O サービスの導入により、利 用者およびその家族等にお いて、医療が必要な状況下 においての在宅での療養生 活の継続に対し、安心感が 得られている	 ほぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・コーン・		✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に ついて、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	O サービスの導入により、在 宅での看取りを希望する利 用者およびその家族等にお いて、在宅での看取りに対 する安心感が得られている	 ほぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない 看取りの希望者はいない 【具体的な状況・取組内容】 ⇒ 8 ⇒ 2 ⇒ 1 ⇒ 0 家族より、看取りについて、安心しています。との評価をいただく。 		 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者 およびその家族等に対し、サービス の提供により実現された「在宅での 看取りに対する安心感」について、 評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・ 泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない 場合は、「5. 看取りの希望者はい ない」

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社 なでしこ	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 私の家なでしこ南田辺
所在地	(〒546-0033) 大阪市東住吉区南田辺 5-7-17		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

「1日笑顔で過ごしましょう」を	を事業所理念に掲げて利用者様、	家族様、	職員が笑顔で過ごせるよう努め	
地域に愛される事業所を目指しま	ます。			

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価		従業者等自己評価		
実施日	西暦 <u>2019</u> 年 <u>9</u> 月 <u>25</u> 日	実施人数	(14) 人	※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 <u>2019</u> 年 <u>11</u> 月 <u>12</u> 日	出席人数(合計)	(8) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	□自事業所職員(<u>2</u> 人) □市町村職員(<u>_</u> 人)	□地域包括支援セン	/ター職員(<u>1</u> 人)	□地域住民の代表者(<u>2</u> 人)
山市有(四元)	□利用者 (<u>2</u> 人) □利用者の家族 (<u>1</u> 人)	□知見を有する者((人) □その他	(人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		岩田の北美計画	字状した目状的な原如	進捗	評価
		前回の改善計画	実施した具体的な取組	自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価		1. 法人理念、事業所理念に看	1. 年2回の面談時に法人理	1. 法人理念、事業所理念に	理念を暗唱されることで、根
(評価項目 1~10)		多機の特徴の一部を含む理	念、事業所理念について	ついては、暗唱の機会もあ	付いているのですね。職員教
(B)		念が掲げられていることの	触れ、周知を実施。	り明確に浸透している。	育もしっかりされていると思
		周知を行う。	3. 新入職 OJT については	3. 各職級 OJT については、	います。
		3. 職員の育成計画 (OJT) の周	書式を用いて全職員での共	確立しているが、OJT名称	
		知を行う。	有、面談等共有できている	認識が浸透出来ていない。	
Ⅱ. サー	1. 利用者等の	専門性の内容については、専門	職員間で、カンファレンス、全	利用者様の変化については、	いろんな職種の方々が連携さ
ビス提	特性・変化に応 じた専門的な	職より解釈が必要と思われる	体会議、連絡帳等にて情報共	常時、情報共有を行い、介	れて対応されていることが解
供等の	サービス提供	為、次回までに説明の機会を設	有及び個別にも説明を行い利	護、看護が一体となり、即時	りました。
評価	(評価項目 11	ける	用者様には専門職が対応	対応できている。	
	~27)				
	2. 多機関・多職種との連携			地域の方との交流について、	参加実現に向けて取り組みま
	(評価項目 28	は、新たな取り組みを検討	V,	町会へ夏祭りの参加希望を提	しょう。
	~31)	する。		案している。	
	3.誰でも安心	33. 啓発活動の取り組みを行	啓発活動の取り組みは行えて	地域に向けて災害時の対応等	情報発信の拠点となってもら
	して暮らせる まちづくりへ	う。	いない。	情報発信できる場所となれる	って、地域と一緒に新たな取
	の参画 (評価項			ような取り組みを行いたい。	り組みができるように行って
	目 32~41)				いきましょう。
Ⅲ. 結果評	平価	すべての利用者様について、達	新たな取り組みはできていな	サービス提供により、安心し	皆さんから安心感が得られて
(評価項目	d 42∼44)	成されていると評価できるよ	V,	た暮らしの継続を目標に掲げ	いますね。
		うに取り組み、家族様や、近隣		努めていく。家族様や地域の	
		住民の方へ、介護力の引き出し		方々と、共に取組んでいける	
		について取り組みを行う		ことを具体化する。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

	項目	評価結果	改善計画	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		法人内においては、年間研修計画に基づき研修の機会を設けている。外部研修については、人員配置の影響により機会が不十分である為、充足に努める。	研修計画に基づき外部研修参加の機会を増やし計画達成に努める。また、職員が安心して働ける環境作りを継続し定着率向上に努める。	
II. サービ ス提供等 の評価	供等 特性・変化に応 る。家族との連絡も密に取れている。専門職の相談援助等の経		利用者の変化に気づき迅速な対応を行う。 利用者、家族に対しての情報共有はわかりやすく、きめ細やかな説明に努める。 専門職が把握する情報を介護職と共有できる環境を作る。 定着できている取り組みの継続と、新たな取り組みができるように体制を整える。 多職種との連携にて急変時にも即時に対応し安心を得る。	
	3.誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項 目 32~41)	地域へ向けての情報発信できる事業所として取り組んでいく	啓発活動できる体制を整える。 痰吸引の資格習得できるよう支援していく。	
Ⅲ. 結果評(評価項目		24 時間医療連携体制及び看取りの指針に基づき対応できている。また、サービス提供の実例をもとに説明することにより、 安心感を得ていただいている。引き続き、安心した暮らしができるように努めていく。	利用者、家族が安心した暮らしを得られ、質の高いサービス提供をめざして全職員が取り組んでいく。	

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

		事業所自己評価					state from a little
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
万		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
T	 		ິ ຈ	(,	V.		
	理念等の明確化	<u> </u>					
-			>). ~m / //	5 - HI	1 7		
(1) 5	看護小規模多機能型居宅介護の物	守徴を踏ま	スた埋念等	が明確化。	とその実践	I	
1	○ サービスに求められる「①	3	3	8		特に意見なし	✔ ①~⑤の全てを含む理念等がある
	医療ニーズの高い利用者の]	3	0			場合は「よくできている」
	在宅生活の継続支援」、「②	[具体的な	ネ状況・取組	<u>[内容]</u>			✔ ①~⑤の一部を含む理念等が掲げ
	在宅での看取りの支援」、	理念につ	いては②、	④、⑤は推	引げている。		られている場合は、「おおよそでき
	 「③生活機能の維持回復」、	(2), (4)t	実践できて	いる。			ている」もしくは「あまりできてい
	 「④家族の負担軽減」、「⑤		,,				ない
	地域包括ケアへの貢献」を						✓ 独自の理念等が明確化されていな
	含む、独自の理念等を掲げ						い場合は「全くできていない」
	ている						V 勿口は「主くてきていない」
					<u> </u>		
2	○ サービスの特徴および事業	6	8			特に意見なし	✔ 「サービスの特徴および理念等を
	所の理念等について、職員						踏まえた実践」の充足度を評価しま
	がその内容を理解し、実践	[具体的な	ネ状況・取組	<u>[内容]</u>			す
	している	理解し実施	浅できている	3 。			✔ 独自の理念等が明確化されていな
							い場合は「全くできていない」

			事業所	自己評価				
番号	評価項目	よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足	
(2)	人材の育成							
1	専門技術の向上のための取組							
3	O 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な 育成計画などを作成してい る		5 3状況・取組 立している		2	特に意見なし	 ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」 	
4	O 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している		6 は状況・取組 の研修を受		を確保して	大変ですが、必要なことですね。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、 充足度を評価します	

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	(1)	()		
2	介護職・看護職間の相互理解を溶						
5	O 介護職·看護職·介護支援専	_	_			特に意見なし	✔ 「情報を共有する機会」の充足度を
	門員の間で、職員が相互に	5	7	2			評価します
	情報を共有する機会が、確	「目休的か	└ よ状況・取組	└────]内灾]			✓ 例えば「利用者等の具体的なケース
	保されている				◇詳 ◇母		について話し合うための、定期的な
					会議、全体		
		会議にお	いて、確保	足している。			カンファレンスの開催」などが考え
							られます
(3)	 組織体制の構築						
-	運営推進会議で得られた意見等 <i>0</i>	ν ⊏ μΨ					
_		7汉昳				Lie () IP II IP) who	
6	〇 運営推進会議で得られた要	3	4	5		皆さん 100 歳体操を楽し	✔ 「得られた要望・助言等のサービス
	望、助言等を、サービスの提	3				みにされているようです	への反映」の視点から、充足度を評
	供等に反映させている	[具体的な	↓状況・取組	<u>l内容]</u>		ね。	価します
		100 歳体	操の継続と	地域行事の	の参加、お		
				て発信拠が	•		
		·			WC.2402		
		より取り	組んでいく	. 0			

			事業所				
平		よく	おおよそ	日口評価	全く	 運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	できて	ー かわよて できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	3	l a cont	l Ca Cris		μι μμισαλίο ο CV/IIIAC
② J	 職員が安心して働くことができる						
7	O 職員が、安心して働くこと ができる就業環境の整備に	1	8	5		特に意見なし	✓ 「職員が、安心して働くことのでき る就業環境」の充足度を評価します
	努めている	[具体的な	状況•取組	 [内容]			✔ 例えば、「職員の能力向上の支援」、
					帯を整備し		「精神的な負担の軽減のための支
			に対応でき				援」、「労働時間への配慮」などが考
					_		
				やを設けて	相談できる		えられます
		環境に努					
(4)		<u> </u>					
(4)	情報提供・共有のための基盤整備	前					
1) 7	利用者等の状況に係る情報の随時	寺更新・共	有のための)環境整備			
8	○ 利用者等の情報について、		4.4			徹底されているのですね。	✔ 「情報の随時の更新」と「職員間で
	 随時更新を行うとともに、	2	11	1			迅速に共有するための工夫」の2つ
	必要に応じて職員間で迅速	「目休めナ	└ ᢏ状況•取組	└──── 広灾]	<u> </u>		の視点から、充足度を評価します
					3 1.10		~ //四ボル・り、 /山/石/文で 町 囲 しよ タ
	に共有できるよう工夫され				ノートより		
	ている	更新され	た利用者情	青報を共有、	活用を行		
		うことを	徹底してい	る。			

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п ш х п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	\ \ \	V		
(5)	安全管理の徹底						
1) 3	各種の事故に対する安全管理						
9	O サービス提供に係る利用者	2	11	1		事故の報告を受けていま	✔ 「各種の事故に対する予防・対策」
	等および職員の安全確保の	2	11	1		すが、対策、是正案をしっ	の充足度を評価します
	ため、事業所においてその	「具体的な	└─── ネ状況・取組]内容]	l	 かりたてていると思いま	対策が求められる事項としては、例
	具体的な対策が講じられて	-			委員を設置	す。	えば「医療・ケア事故の予防・対策」、
	N2				し、是正を	,	「交通安全」、「夜間訪問時の防犯対
	V ''3						
				11筧ノアイ/	レにて、周		策」、「個人情報保護」などが考えられ 、、
		知してい	る。				ます
(2)	 災害等の緊急時の体制の構築						
10	O 災害などの緊急時において						✓ 「緊急時におけるサービス提供の
	も、サービス提供が継続で	1	8	5		と思います。	
		5 5 11 11 1				८/心∀・より。	ための備え」について、充足度を評
	きるよう、職員、利用者、関		ὰ状況•取組				価します
	係機関の間で、具体的な対	BCP を策	定し、随時	f、災害訓練	東を実施し		✔ 例えば、「安否確認方法の明確化」、
	応方針が共有されている	ている。					「連絡先リストの作成」、「医療材料
							などの確保」、「災害時ケアのマニュ
							アル化」などが考えられます
							7 / 1 3 C % 1/C 5 % 0 & /

番	番評価項目	よく おおよそ あまりで		全く	運営推進会議における評価	評価の視点・	
号	计侧线口	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	\ \ \	(1)		
I	サービス提供等の評価						
1. 🔻	利用者等の特性・変化に応じた専門						
(1)	利用者等の状況把握及びアセス						
1) ;	利用者等の 24 時間の暮らし全体						
11	O 在宅時の利用者の生活状況	1	6	4	2	特に意見なし	✔ 「家族等も含めた 24 時間の暮らし
	や家族等介護者の状況等を	[具体的な	↓状況・取組]内容]			全体に着目したアセスメント」の充
	含む、利用者等の 24 時間の	家族介護	者がいない	っ方につい	ては、サー		足度を評価します
	暮らし全体に着目したアセ	ビス提供	者からの情	青報収集を言	含めて行っ		✔ ケアが包括的に提供される看護小
	スメントが行われている	ている。					規模多機能型居宅介護においては、
							家族等を含めた 24 時間の暮らし全
			体に着目したアセスメントが必要				
							となります
			I	I	I		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ	1	8	4	1	特に意見なし	✔ 「介護職と看護職間でのアセスメ
	の視点から実施したアセス	[具体的な	↓状況•取組	内容]			ント結果の共有」について、充足度
	メントの結果が、両職種の	常に看護	、介護が通	連携のもと、	情報共有		を評価します
	間で共有されている	できてい	る。				✔ 介護・看護の両面から行われたアセ
							スメントの結果は、その後のつき合
							わせなどを通じて、両職種で共有さ
							れることが望ましいといえます

			事光記	自己評価			
亚		1-/	おおよそ	日巳評価	全く	 運営推進会議における評価	評価の視点・
番号	評価項目	よく できて	できてい	めまりで きていな	至く できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
,,		いる	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	S (1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	l cacour		計画(こな)に [*] り C V / m / E
2 5	 利用者等の「尊厳の保持と自己第	_					
13	O 家族を含む利用者等の考え	1	6	6	1	特に意見なし	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作
	を把握するとともに、その	[具体的な	状況∙取組	内容]			成」について、充足度を評価し利用
	目標の達成に向けた計画が	家族様、マ	利用者様の	意向を反映	させ、実現		者のみでなく、家族等の考えを適切
	作成されている	できるよう	に努めてし	15.			に把握するとともに、その考えを含
	117942.43	(,,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	U 0			めた計画を作成することは重要で
							,,,,,,, = ,,,,,,,
							あるといえます
			I	T	T		
14	〇 利用者の有する能力を最大	1	1	11	1	特に意見なし	✔ 「利用者の有する能力を活かした、
	限に活かした、「心身の機能	[具体的な	ネ状況・取組]内容]			心身機能の維持回復を重視した計
	の維持回復」「生活機能の維	充足して	いない。				画の作成」について、充足度を評価
	持又は向上」を目指すこと						します
							·
	を重視した計画が作成され						✔ 「利用者が尊厳を持って、その有す
	ている						る能力に応じ地域において自立し
							た日常生活を営む」ために、必要な
							視点であるといえます
							Dam (CO & C · /C &)

			事業所	自己評価			
番号	额 在 帝 中	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	評価項目	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	V)	V)		
3 7	利用者の今後の状況変化の予測と						
15	O 利用者の今後の状況変化の	1	4	6	3	特に意見なし	✔ 「状況変化の予測」と「リスク管理」
	予測と、リスク管理を踏ま	[具体的な	状況•取組	<u>[内容]</u>			の2つの視点から、充足度を評価し
	えた計画が作成されている	医療的な	課題等の	予測を踏ま	えて作成し		ます
		ている。					✓ 介護・看護が一体的に提供される看
							護小規模多機能型居宅介護におい
							ては、特に看護職による予後予測な
							どを踏まえて計画を作成すること
							が重要です
(2)	利用者等の状況変化への迅速な	· 対応とケア	マネジメン	トの実践			
1) #	継続したアセスメントを通じた、	利用者等	の状況変化	この早期把持		D反映	
16	O サービス提供を通じた継続	1	6	6	1	特に意見なし	✔ 「早期の把握」と「計画への適宜反
	的なアセスメントにより、	[具体的な	· 战状況∙取組	 [内容]	I.		映」の2つの視点から、充足度を評
	利用者等の状況変化を早期	即時に状	況の変化の)把握は出き	来ている。		価します
	に把握し、計画への適宜反			るように刻	· -		
	映が行われている	HI),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	47/1/11 474 0 C A . (2)						

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	計価切口	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	(1)	\ \		
2)	居宅への訪問を含む、利用者等の	り暮らし全	体に着目し	色と計画への反映			
17	○ 通い・泊まりの利用に過度	1	3	4	4	特に意見なし	✔ 「訪問による、家族等を含めた居宅
	に偏らないよう、適時適切	[具体的な	ネ状況∙取組	<u>l内容]</u>			での生活状況の変化の継続的な把
	に利用者宅を訪問すること	自宅訪問	時やモニタ	リング時に	こ状況の把		握」という視点から、充足度を評価
	で、家族等を含めた居宅で	 握をして	、変化に対	が応している	5.		します
	の生活状況の変化を継続的						✔ 訪問によるケアの提供は、家族等を
	に把握している						含めた居宅での生活状況を把握す
							るためにも重要です
							0.6%(-0.5%(-)
3 7	利用者等の状況変化や目標の達成	戊状況等に	関する関係	系多職種との	の情報共有		
18	Ο 利用者等の状況変化や目標	1	8	3	2	特に意見なし	✔ 「利用者等の状況変化や目標の達
	の達成状況等について、主	[具体的な	҈状況∙取組	<u>l内容]</u>			成状況等の事業所内外を含む関係
	治医など、事業所内外を含	多職種連	携において	「情報共有〕	している。		多職種との情報共有」について、充
	む関係多職種と情報が共有	_			-		足度を評価します
	されている						,

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方	,,, <u>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</u>	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(3)				,			
1) :	介護職と看護職の相互の専門性を						
19	O 介護職と看護職のそれぞれ	1	10	2	1	特に意見なし	✔ 「介護職と看護職の専門性を活か
	の専門性を最大限に活かし	[具体的な	ネ状況・取組]内容]			した役割分担」について、充足度を
	ながら、柔軟な役割分担が	介護、看	護が一体と	こなりサー	ビス提供し		評価します
	行われている	ている。					✔ 介護・看護が一体的に提供される看
							護小規模多機能型居宅介護では、効
							果的・効率的なサービス提供のため
							に、各々の専門性を活かした役割分
							担や、業務の状況等に応じた柔軟な
							役割分担を行うことが重要です
			I		I		
20	○ 利用者等の状況について、	3	9	1	1	特に意見なし	✔ 「介護職と看護職の情報共有およ
	介護職と看護職が互いに情	[具体的な	计况•取組	内容]			び対応策の検討」について、充足度
	報を共有し対応策を検討す	両職種間	にて情報共	は有を行い、	検討、実		を評価します
	るなど、両職種間の連携が	施してい	る。				
	行われている						

評価の視点・ 評価にあたっての補足 ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1
評価にあたっての補足 ✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看
✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します✓ このような情報提供や提案等は、看
職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看
職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看
て、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看
✓ このような情報提供や提案等は、看
推職の 声 明妣を洋かした怨剰の1
つとして期待されます
2 2 0 2/3111 2 4 0 30 /
✔ 「利用者等の理解」について、充足
度を評価します

番号 ② 7 23	評価項目 利用者等への「在宅での療養生活 〇 作成した計画の内容や在宅 での療養生活の継続に向け て留意すべき点等につい て、分かりやすく説明し、利	1 [具体的な わかりや	おおよそ できてい る 指導・説明 3 は状況・取組 すい言葉で	7 l内容]	全く できていな い 2 めているが おられる。	運営推進会議における評価 コメント記入欄 特に意見なし	評価の視点・ 評価にあたっての補足 ✓ 「利用者等の理解」について、充足 度を評価します
24	用者等の理解を得ている O 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	利用者様			2	特に意見なし	✔ 「利用者等の理解」について、充足 度を評価します
3	 重度化した場合や終末期における	 対応方針	 の、利用者	*等との相談	 淡と共有		
25	○ 利用者本人(意思の決定・表示ができない場合は家族等)の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	1 [具体的な 看取りの	10 よ状況・取組	1 内容] ニ説明を行い	2 //、希望と	特に意見なし	✓ 「サービス提供への適切な反映」に ついて、充足度を評価します

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
26		1	ے 5	3	4	 特に意見なし	✓ 「将来に発生し得る様々なリスク」
	計すべき状況を予め想定	_	·· k状況•取組			141-10190 01 0	を想定した上での、対応策の検討と
	し、その際の対応方針等に				リスクの想		共有」について、充足度を評価しま
				•	ソヘクの店		す
	ついて、利用者等と相談・共		共有してい	` る。			9
	有することができている						
07	0 W-1401 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 - 20 -					件)~茶口	
27	O 終末期ケアにおいて、利用	1	6	4	2	特に意見なし	✓ 「予後および死までの経過の説明」
	者等に適切な時期を見計ら		ừ況•取組				と「記録の有無」の2つの視点から、
	って、予後および死までの	看取り時	には、詳組	明に記録し、	ている。		充足度を評価します
	経過を丁寧に説明し、説明						✔ 「丁寧に説明し」且つ「記録として
	した内容や利用者等の意向						残している」場合は「よくできてい
	等を記録として残している						る」
2. 🖠							
(1)	病院・施設等との連携による円滑	で切れ目の	りないケアの	の提供			
1) }	病院・施設等との連携や情報共存	有等による	、在宅生活	5〜の円滑7	な移行		
28	〇 病院・施設等との連携・情報	3	7	2	2	特に意見なし	✔ 「利用者の円滑な在宅生活への移
	共有等により、病院・施設等	[具体的な	状況・取組	<u>[内容]</u>			行」について、充足度を評価します
	からの、利用者の円滑な在	病院と連	携し情報収	7集、共有	を行い、迅		✔ 例えば、「退院・退所前のカンファレ
	宅生活への移行を支援して	 速に退院	に向けて対	応している	5。		ンスへの参加」、「利用者等に係る病
	いる						院・施設等との継続した情報共有」
							などの取組が考えられます
							3.2 3.43.

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п ш х п	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	5 N.Y.E	()	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	<u>-</u>	
(2)	入院・入所の可能性がある利用者	者について	の、主治医	送等との対応	□万針の共和 □	1	
29	○ すべての利用者について、	3	7	2	2	特に意見なし	✔ 「緊急時の対応方針等の主治医等
	緊急時の対応方針等を、主	[具体的な	状況•取組	<u>[内容]</u>			との相談・共有」を評価します
	治医等と相談・共有するこ	主治医、	家族と相談	の上、実施	iしている。		✔ 利用者の状態変化・家族等介護者の
	とができている						状況の変化など、実際に発生する前
							の段階から予め対応方針等を主治
							医等と相談・共有しておくことが重
							_
							要です
3 :	地域の医療機関等との連携による	る、急変時	• 休日夜間	等に対応す	可能な体制の	D構築	
30	Ο 地域の医療機関等との連携	3	6	3	1	安心ですね。	✔ 「即座な対応が可能な体制の構築」
	により、休日夜間等を含め	[具体的な	ネ状況・取組	<u>[内容]</u>			について、充足度を評価します
	て、すべての利用者につい	常に急変	時には即時	がに連携し~	て対応でき		
	て、急変時に即座に対応が	ている。					
	可能な体制が構築されてい						
	3						

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号	HI IIII X H	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(2)	夕吟話しの法様仕別の構築	いる	る	V	V)		
_ · ·	多職種との連携体制の構築	ta s s		1.1-11.3.		. Amellock	
_	運営推進会議等における、利用者						
31	〇 運営推進会議等において、		6	2	3	いつも前向きに考えてお	✔ 「利用者のために必要となる、介護
	利用者のために必要と考え	[具体的な	ネ状況・取組	<u>l内容]</u>		られますので、一緒に取り	保険外のサービスやインフォーマ
	られる包括的なサポートに	100 歳体	操の定着及	び地域包括	舌支援セン	組んでいきましょう。	ルサポート等を含めたケアの提供
	ついて、民生委員・地域包括	ターと町	会の方々と	情報共有	し、事業所		について、多職種とともに検討・支
	支援センター・市区町村職	と地域を	繋ぐ取り組	1みを増や1	していく。		援を行っていくなどの取組」の充足
	員等への情報提供や提案が						度を評価します
	行われている						✓ そのような取組をしたいことがな
							い場合は「全くできていない」
							✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町
							会長などの住民代表も対象です
							云及などの丘氏氏弦も対象です
3.	誰でも安心して暮らせるまちづくりっ	への参画					
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案					
1	サービスの概要及び効果等の、地	地域に向け	た積極的な	に情報の発信	言		
32	Ο 運営推進会議の記録につい	5	6		1	特に意見なし	✔ 「誰でも見ることができる方法で
	て、誰でも見ることができ	[具体的な	┆状況∙取組	 <u> 内容]</u>	1		の情報発信」と「迅速な情報発信」
	るような方法での情報発信			<u></u> 〔対応し、〕	玄関には、		の2つの視点から、充足度を評価し
	が、迅速に行われている				イルを設置		ます
		している					
			<u> </u>				
							<u> </u>

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
33	○ サービスの概要や地域にお	1	2	6	3	 特に意見なし	✓ 「積極的な啓発活動」について、評
	いて果たす役割等につい	「目体的な	_ :状況•取組	└──~~ 広灾]		141-1000 00	価する項目です
	て、正しい理解を広めるた		ねんでいき 組んでいき				
	め、地域住民向けの積極的		祖心 ている	: / _ V ' ₀			域説明会の実施」などの取組が考え
	な啓発活動が行われている						製成的云の美旭」などの収組が与え られます。
	な俗先伯動が114746くいる						
							利用有や職員の確保のみを目的と
							した仏動寺は味さまり
(0)			\ -	* 1.1.1 <u>-15.11</u> -n 1		N	
	医療ニーズの高い利用者の在宅				• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
-	看護小規模多機能型居宅介護事業	ま かの登録	者以外を含	さむ、地域へ	への訪問看護		
34	〇 看護小規模多機能型居宅介	1	1	2	8	特に意見なし	✔ 「指定訪問看護事業所の指定を併
	護事業所の登録者以外を対	[具体的な	状況•取組	<u>[内容]</u>			せて受けている事業所」のみが対象
	象とした訪問看護を積極的	実施して	いない。				です。該当しない場合は、実施状況
	に実施している						欄は無記入で、「具体的な状況・取組
							内容]欄に「指定なし」と記入してく
							ださい
							✔ 「登録者以外を対象とした訪問看
							護」を実施してないていない場合
							は、「全くできていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よくで」
							きている」は、その「積極性」の視
							点から、充足度を評価します

		車業部	白口 証価			
The forest to) /			全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
評価項目	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
	いる	る	\ \	V		
医療ニーズの高い要介護者の積極	極的な受け	入れ				
O 「たん吸引」を必要とする		4	3	4	特に意見なし	✔ 「積極的な受け入れ」について、充
要介護者を受け入れること	[具体的な	∜状況・取組	<u>l内容]</u>			足度を評価してください
ができる体制が整ってお	受け入れ	できるよう	資格者をは	曽やしてい		✔ 「受け入れることができる体制」が
り、積極的に受け入れてい	<。					整っていない場合は、「全くできて
る						いない」
						✓ 「あまりできていない」~「よくで
						きている」は、その「積極性」の視
						点から、充足度を評価します
 Ο 「人工呼吸器」を必要とす		2	1	8	 特に意見なし	
						足度を評価してください
	[具体的な	状況•取組	<u>l内容]</u>			✓ 「受け入れることができる体制」が
	できていた	ぼい。				整っていない場合は、「全くできて
						正りていない場合は、「主くてきて
ప						-
						✓ 「あまりできていない」~「よくで
						きている」は、その「積極性」の視
						点から、充足度を評価します
	O 「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整ってお り、積極的に受け入れてい	医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け O「たん吸引」を必要とする 要介護者を受け入れること ができる体制が整ってお り、積極的に受け入れている O「人工呼吸器」を必要とす る要介護者を受け入れること とができる体制が整ってお り、積極的に受け入れてい り、積極的に受け入れてい	 評価項目 まくできている 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている 「具体的な状況・取組受け入れできるような。 「具体的な状況・取組できるような。 「具体的な状況・取組できるような。 「具体的な状況・取組できるような。 「具体的な状況・取組できるような。 「具体的な状況・取組できていない。 	 ごきて できてい さていない る できている いか を できている と いって と いって と ができる体制が整っており、積極的に受け入れている 〇「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れていり、積極的に受け入れていり、積極的に受け入れていり、積極的に受け入れている 	評価項目 よくできていまできていないる おおよそできていなられいない。 全くできていないのできていない。 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ 4 3 4 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている。 受け入れできるよう資格者を増やしていく。 会は入れできるよう資格者を増やしていく。 「人工呼吸器」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れていまり、積極的に受け入れています。 2 1 8	

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
37	O 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	2 [具体的な	6 *状況•取組	3 <u>I内容]</u> いできていな	1	特に意見なし	 ✓ 「積極的な受け入れ」について、充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」~「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
(3)	地域包括ケアシステムの構築に	」 向けての、	まちづくりへ	の参画			
1) 3	行政の地域包括ケアシステム構築	築に係る方	針や計画の	理解			
38	○ 管理者および職員が、行政 が介護保険事業計画等で掲 げている、地域包括ケアシ ステムの構築方針や計画の 内容等について理解してい る	全ての職	<u>・状況・取組</u> 員が地域包 ていない。		ステムの理	特に意見なし	 ✓ 「内容等の理解」について、その充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築にあたっては、その中で各々が果たすべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」 ✓

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	п I IIII- Я П	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	<u>る</u>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	· · · · · ·		
2	サービス提供における、(特定の	建物等に『	艮定しない) 地域への 	·展開 ·		
39	O サービスの提供エリアにつ	2		7	4	特に意見なし	✔ 「特定の集合住宅等に限定しない、
	いて、特定の集合住宅等に	[具体的な	҈状況∙取組	 .内容]			地域への積極的な展開」について、
	限定せず、地域に対して積						充足度を評価します
	極的にサービスを提供して						✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなる。
	いる						たの集合性七寺に限定りることな く、地域全体の在宅療養を支える核
	v つ						として機能していくことが期待さ
							れます
							✔ 特定の集合住宅等のみを対象とし
							ている場合は「全くできていない」
3 5	安心して暮らせるまちづくりに応	句けた、関	係者等への	積極的な記	果題提起、改	文善策の検討等	
40	O 介護・看護の観点から、地	1	3	3	6	特に意見なし	✔ 「課題提起や改善策の提案等の取
	域の関係者に対し、必要に	[具体的な	ネ状況∙取組	内容]			組」について、その充足度を評価し
	応じて課題提起や改善策の	行われて	いない。				ます
	提案等が行われている						✔ 今後は、サービスの提供等を通じて
							得た情報や知見、多様な関係者との
							ネットワーク等を活用し、必要とな
							る保険外サービスやインフォーマ
							ルサービスの開発・活用等、利用者
							等のみでなく地域における課題や
							改善策を関係者に対して提案して
							いくなどの役割も期待されます
							✔ そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	る	<i>V</i>)	\ \\\		
41	〇 家族等や近隣住民などに対	<u>1</u>	<u>1</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	特に意見なし	✓ 「家族等や近隣住民に対する、介護
	し、その介護力の引き出し	[具体的な	ネ状況・取組	<u>l内容]</u>			力の引き出しや向上のための取組」
	や向上のための具体的な取	家族に対	しては行え	ているが、は	地域の方へ		について、その充足度を評価します
	組等が行われている	の取り組む	みはできて	いない。			✔ 今後は、利用者への家族等や近隣住
							民の関わりを促しながら、関係者全
							員の介護力を最大限に高めること
							により、在宅での療養生活を支えて
							いくための環境を整えていくなど
							の役割も期待されます
							✔ そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш	結果評価			
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利 用者ごとの計画目標が達成 されている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 地域とのかかわりの機会を達成。	特に意見なし	✔ 「計画目標の達成」について、評価します
2 7	在宅での療養生活の継続に対する	- る安心感		
43	O サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容] 医療連携と状況の共有においては、安心感をいただいている。	特に意見なし	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に ついて、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	O サービスの導入により、在 宅での看取りを希望する利 用者およびその家族等にお いて、在宅での看取りに対 する安心感が得られている	1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容] 看取りの指針に基づき説明を行い、安心感を得ている。	安心ですね。	 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5.看取りの希望者はいない」

、、 < 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社 なでしこ	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 私の家なでしこ南田辺
所在地	(〒546-0033) 大阪市東住吉区南田辺 5-7-17		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

「1日笑顔で過ごしましょう」を事業所理念に掲げて
利用者様、家族様、職員が笑顔で過ごせるよう努め、地域に愛される事業所を目指します。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価		従業者等自己評価		
実施日	西暦 2018年 12月 25日	実施人数	(13) 人	※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2019 年 1月 8日	出席人数 (合計)	(<u>6</u>) 人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	□自事業所職員(2人) □市町村職員(2人)	□地域包括支援セン	⁄ター職員 (□地域住民の代表者 (1人)
HWI12- (L.1M/C)	□利用者 (<u>1</u> 人) □利用者の家族 (<u>1</u> 人)	□知見を有する者	(人)	□その他	1 (人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価			
				自己評価	運営推進会議における意見等		
I. 事業運営の評価		あまりできていないと評価さ	6 運営推進会議での情報を	6 毎週火曜日に地域の方と	100歳体操は交流の場として、		
(評価項目 1~10)		れた項目についての取り組み	基に 100 歳体操の取り組み	100 歳体操を実施	とてもよいと思います。		
		を強化する。策定されている	7 職員の状況に応じた勤務	7 前回の自己評価			
		項目についての周知を行な	時間帯の整備、及び面談等、	あまりできていない6→2へ			
		う。	相談できる環境整備。随時、	減少			
			 支援体制を整えている。				
Ⅱ.サービ	1. 利用者等の	利用者等の理解については難	変化等については、介護、看	介護、看護が一体となりサー			
ス提供等	特性・変化に応	 しい面もある為、家族との連	 護が情報共有し対応策の検討	 ビス提供を行ない、互いに報			
の評価	じた専門的な サービス提供	 携を深めてサービス提供を行	 を行ない、家族への連携も逐	 連相を基本に対策を講じてい			
	(評価項目 11	 なう。	 一行なっている。	 る。			
	~27)		-	-			
	2. 多機関・多	地域包括支援センターと連携	100 歳体操の取り組み	今後も新たな取り組みを行な	30 安心であると思う。		
	職種との連携 (評価項目 28	し取り組みを具体化する。		って行く。			
	~31)						
	3.誰でも安心	地域との連携をさらに強めて	特になし	積極的な参画は行なえていな	35 資格を取りに行くのは大		
	して暮らせる	 積極的に参画を行ない、地域		 い為、取り組めることを検討	 変でしょうが、必要なことで		
	まちづくりへの参画(評価項	 住民との関わりを深める為に		 して行く。	すね。		
	目 32~41)	 町会へ発信して行く。					
Ⅲ. 結果評	 価	すべての利用者さまについて	多職種連携により安心感を得	利用者2/3くらいについて達	43 細かく連絡を貰い安心		
(評価項目		達成できるよう見直す。	られるよう、家族も含め情報	成。	44 安心ですね		
			 共有を行なう。				

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目 I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10) II. サービ 1. 利用者等の		評価結果	改善計画
		1 理念については、法人理念、事業所理念があり、それについて職員は理解し実践できているが、看多機の特徴が同一文章で含まれていない為か、あまりできていないとの評価が一番多くあった。 3 職員の育成計画を作成しているが、認識が薄い	掲げられていることの周知を行う 3 職員の育成計画 (OJT) の周知を行う。
Ⅱ.サービ ス提供等 の評価	特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11 ~27) 2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28 ~31)	アセスメントに基づく計画の作成、迅速な対応とケアマネジメントの実践等については、専門性の内容の為に職員の理解にばらつきがある。 連携については常に行われており、実践している為におおよそできていると評価できている。	
	3. 誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項 目 32~41)	医療ニーズの高い方の受け入れが積極的には行えていない。	33 啓発活動の取組みを行う。
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)		2/3 くらいについて達成されていると評価する。 運営推進会議においても安心との評価を受ける。	ほぼすべての利用者様について、達成されていると評価できるように取り組んでいくのは基より、家族等や近隣住民などに対しての介護力の引き出しについての取り組みを行なう。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
-		いる	る	\ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
1	事業運営の評価[適切な事業運営	雪 」					
(1)	理念等の明確化						
1 3	看護小規模多機能型居宅介護の特別	骨徴を踏ま 次	えた理念等	の明確化と	その実践		
1	O サービスに求められる「①医		_	0		特に意見なし	✔ ①~⑤の全てを含む理念等がある
	療ニーズの高い利用者の在		5	8			場合は「よくできている」
	 宅生活の継続支援」、「②在宅	「旦体的な	└─── ネ状況•取組	 内容]			✓ ①~⑤の一部を含む理念等が掲げ
	での看取りの支援」、「③生活				-1.1721.1		られている場合は、「おおよそでき
					~ v ./ * v .º		
	機能の維持回復」、「④家族の			れている。			ている」もしくは「あまりできて いない」
	負担軽減」、「⑤地域包括ケア	③④の実	践について	は成果が見	見られる。		
	への貢献」を含む、独自の理						✔ 独自の理念等が明確化されていな
	念等を掲げている						い場合は「全くできていない」
2	│ │ ○ サービスの特徴および事業					────────────────────────────────────	✓ 「サービスの特徴および理念等を
-	所の理念等について、職員が	4	7	2		141-1676-80	踏まえた実践」の充足度を評価し
	その内容を理解し、実践して	具体的な	ὰ状況•取組	.内容」			ます
	いる	事業所理	念について	は、理解し	実践できて		✔ 独自の理念等が明確化されていな
		いるが、サービスの特徴の理解については			については		い場合は「全くできていない」
		, 課題あり。	,				

(2)	人材の育成					
1	専門技術の向上のための取組					
3	○ 職員との話し合いなどを通 じて、各職員の中長期的な育 成計画などを作成している	[具体的な OJT を確立		2	特に意見なし	 ✓ 「育成計画の作成」の状況について、充足度を評価します ✓ すべての職員について育成計画などを作成している場合は「よくできている」 ✓ 育成計画などを作成していない場合は「全くできていない」
4	O 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	3 [具体的なな) 研修制度は	且内容] 確保している	3 3°	お忙しい中で大変だと思います。	✓ 「専門技術の向上のための日常業務以外での機会の確保」について、充足度を評価します

2		ぞめるため	の機会の確	 保			
5	O 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	適宜情報 又、ケア	は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	 えて 大会議での	っている カンファレ	特に意見なし	「情報を共有する機会」の充足度を評価します 例えば「利用者等の具体的なケースについて話し合うための、定期的なカンファレンスの開催」などが考えられます
(3)	組織体制の構築	I					
1	運営推進会議で得られた意見等の)反映					
6	O 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	地域包括 実施。地		により 10	0 歳体操を地域行事の	100 歳体操は良い取組みですね。	「得られた要望・助言等のサービスへの反映」の視点から、充足度 を評価します

		小坐埋体の事件		1
7	職員が安心して働くことができる	2 8 2 [具体的な状況・取組内容] 職員の状況に応じた勤務時間帯 て、随時に支援体制を整えてい		 ✓ 「職員が、安心して働くことのできる就業環境」の充足度を評価します ✓ 例えば、「職員の能力向上の支援」、「精神的な負担の軽減のための支援」、「労働時間への配慮」などが考えられます
-	 情報提供・共有のための基盤整備			
8	利用者等の状況に係る情報の随時 O 利用者等の情報について、随 時更新を行うとともに、必要 に応じて職員間で迅速に共 有できるよう工夫されてい る	東野・共有のための環境整備 2 10 [具体的な状況・取組内容] 業務前に必ず確認する連絡ノー情報更新の記載を行い活用して 又、朝礼、終礼時に情報共有を る。	いる。	✓ 「情報の随時の更新」と「職員間で迅速に共有するための工夫」の 2つの視点から、充足度を評価します

(5)	安全管理の徹底						
1)	各種の事故に対する安全管理						
9	O サービス提供に係る利用者 等および職員の安全確保の	1	10	1		いつも細かく報告されて色々 と考えていますね。	✓ 「各種の事故に対する予防・対策」 の充足度を評価します
	ため、事業所においてその具	[具体的な	状況•取組]内容]			対策が求められる事項としては、
	体的な対策が講じられてい	事故マニ	ュアルの第	策定、事故	委員を設置		例えば「医療・ケア事故の予防・
	る				る。又、毎りを行って		対策」、「交通安全」、「夜間訪問時 の防犯対策」、「個人情報保護」な どが考えられます
2	 災害等の緊急時の体制の構築						
10	O 災害などの緊急時において も、サービス提供が継続でき るよう、職員、利用者、関係 機関の間で、具体的な対応方 針が共有されている	2 [具体的な BCP 策定	8	2 (日内容]	1	対策は必要ですね。	 ✓ 「緊急時におけるサービス提供のための備え」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「安否確認方法の明確化」、「連絡先リストの作成」、「医療材料などの確保」、「災害時ケアのマニュアル化」などが考えられます

I							
1. ₹	利用者等の特性・変化に応じた専門	的なサービ	え提供				
(1)	利用者等の状況把握及びアセス	メントに基づ	がく計画の作	成			
1) 5	利用者等の 24 時間の暮らし全体	に着目した	、介護・君	≨護両面か	らの一体的な	よアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況		5	8	1	特に意見なし	✔ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら
	や家族等介護者の状況等を	[具体的な	:状況•取組	内容]			し全体に着目したアセスメント」
	含む、利用者等の 24 時間の	ほとんど	の方につい	って、家族	介護者が不		の充足度を評価します
	暮らし全体に着目したアセ	在である	が、家族カ	らの情報に	収集により		✓ ケアが包括的に提供される看護小
	スメントが行われている	行っている	る。				規模多機能型居宅介護において
							は、家族等を含めた 24 時間の暮
							らし全体に着目したアセスメント
							が必要となります
				I	T		
12	○ 介護職と看護職がそれぞれ	1	5	7		特に意見なし	✓ 「介護職と看護職間でのアセスメ
	の視点から実施したアセス						ント結果の共有」について、充足
	メントの結果が、両職種の間		状況・取組				度を評価します
	で共有されている	常時、連打 	携し共有で	きている。			✓ 介護・看護の両面から行われたア
							セスメントの結果は、その後のつ
							き合わせなどを通じて、両職種で
							共有されることが望ましいといえ
							ます

2 5	 利用者等の「尊厳の保持と自己実	 『現の達成』を重視	した計画の作	 乍成		
13	O 家族を含む利用者等の考え を把握するとともに、その目 標の達成に向けた計画が作 成されている	1 8 <u>[具体的な状況・取</u> 家族様、利用者を る。		と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	特に意見なし	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます
14	O 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	1 3 [具体的な状況・取 全ての方に対し い。		出来ていな	特に意見なし	 ✓ 「利用者の有する能力を活かした、心身機能の維持回復を重視した計画の作成」について、充足度を評価します ✓ 「利用者が尊厳を持って、その有する能力に応じ地域において自立した日常生活を営む」ために、必要な視点であるといえます
3 =	利用者の今後の状況変化の予測と	、リスク管理を踏	まえた計画の	の作成		
15	O 利用者の今後の状況変化の 予測と、リスク管理を踏まえ た計画が作成されている	6 [具体的な状況・取 転倒予測、医療的 る。		って行ってい	特に意見なし	 ✓ 「状況変化の予測」と「リスク管理」の2つの視点から、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護においては、特に看護職による予後予測などを踏まえて計画を作成することが重要です

(2)	利用者等の状況変化への迅速な	対応とケアマネジメン	小の実践			
1)	継続したアセスメントを通じた、	利用者等の状況変化	との早期把	握と計画への)反映	
16	O サービス提供を通じた継続 的なアセスメントにより、利 用者等の状況変化を早期に 把握し、計画への適宜反映が 行われている	状況の把握は出来	ているが、			✓ 「早期の把握」と「計画への適宜 反映」の2つの視点から、充足度 を評価します
② . 17	 	 	したアセス 4	メントの実施	iと計画への反映 特に意見なし	✓ 「訪問による、家族等を含めた原
	偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	自宅訪問時やモニ		寺に状況の把		宅での生活状況の変化の継続的な 把握」という視点から、充足度を 評価します ✓ 訪問によるケアの提供は、家族等 を含めた居宅での生活状況を把握 するためにも重要です

3	 利用者等の状況変化や目標の達成			
18	○ 利用者等の状況変化や目標 の達成状況等について、主治 医など、事業所内外を含む関 係多職種と情報が共有され ている	1 9 2 [具体的な状況・取組内容] 常時、多職種連携において共有している。	特に意見なし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の達成状況等の事業所内外を含む関係 多職種との情報共有」について、 充足度を評価します
(3)	介護職・看護職の協働による一体的	内なサービスの提供		
1) 2	介護職と看護職の相互の専門性を	生かした柔軟なサービスの提供		
19	O 介護職と看護職のそれぞれ の専門性を最大限に活かし ながら、柔軟な役割分担が行 われている	3 9 [具体的な状況・取組内容] 介護、看護が一体となりサービス提供を行っている。	特に意見なし	 ✓ 「介護職と看護職の専門性を活かした役割分担」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護が一体的に提供される看護小規模多機能型居宅介護では、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です

	- CITT + 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15 - 15		1 -	Ι .		44. 	([
20	○ 利用者等の状況について、介	3	8	1		特に意見なし	✓ 「介護職と看護職の情報共有およ
	護職と看護職が互いに情報	[具体的な状況・取組内容]					び対応策の検討」について、充足
	を共有し対応策を検討する	互いに報連相を基本に対策を講じてい			を講じてい		度を評価します
	など、両職種間の連携が行わ	る。					
	れている						
2 =	看護職から介護職への情報提供お	よび提案					
21	O 看護職から介護職に対して、	2	7	1	1	特に意見なし	✔ 「看護職の専門性を活かした、介
	疾病予防・病状の予後予測・	[具体的な	よ状況・取組	 <u>[内容]</u>			護職への情報提供や提案等」につ
	心身の機能の維持回復など	看護職が	らの提案だ	 があり活用	を行ってい		いて、充足度を評価します
	の観点から、情報提供や提案	る。					✓ このような情報提供や提案等は、
	等を行っている	•					看護職の専門性を活かした役割の
	,, 2 / 3 / 3						1つとして期待されます

(4)	利用者等との情報及び意識の共有	Ī					
1) 5	利用者等に対するサービスの趣旨	量及び特徴	等について	の情報提供	共		
22	O サービスの趣旨および特徴	1	5	5	1	特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充
	等について、分かりやすく説	[具体的な	↓状況•取組				足度を評価します
	明し、利用者等の理解を得て	わかりや	すいように	二説明に努る	めている。		
	いる						
2	- 利用者等への「在宅での療養生活	- 5」に係る	指導・説明				
23	O 作成した計画の内容や在宅	1	4	7	1	特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充
	での療養生活の継続に向け	[具体的な	以状況・取組	 <u> 内容]</u>			足度を評価します
	て留意すべき点等について、	わかりや	すい言葉に	こして説明る	を行う。		
	分かりやすく説明し、利用者						
	等の理解を得ている						
			<u> </u>			44. * -	
24	○利用者等が行う医療処置や	1	4	6	2	特に意見なし	✓ 「利用者等の理解」について、充
	医療機器の取り扱い方法、家	ENGLISHED WATER AND THE					足度を評価します
	族等が行うケアの提供方法				明を行う。		
	等について、分かりやすく説						
	明し、利用者等の理解を得て						
	いる						
3	 重度化した場合や終末期における		 の、利用者		 炎と共有		
. – -							II

25	〇 利用者本人 (意思の決定・表	1 8	1 1	特に意見なし	✓ 「サービス提供への適切な反映」
	- 示ができない場合は家族等)	 「具体的な状況・取組]内容]		について、充足度を評価します
	の希望や意向を把握し、サー	契約時に看取りの打			
	ビスの提供に反映している	況に応じて対応する			
		ている。			
26	O 在宅生活の継続の可否を検	7	2 3	特に意見なし	✓ 「将来に発生し得る様々なリスク
	討すべき状況を予め想定し、	[具体的な状況・取組	<u> </u> 内容]		を想定した上での、対応策の検討
	その際の対応方針等につい	利用者様、家族様々	へはリスクについっ	相	と共有」について、充足度を評価
	て、利用者等と相談・共有す	談し、対策を講じる	うことを共有してい	る。	します
	ることができている				

27	O 終末期ケアにおいて、利用者	2	4	1	4	特に意見なし	✓ 「予後および死までの経過の説
21	等に適切な時期を見計らっ	-				「小にある」	明」と「記録の有無」の2つの視
	すに過労な時期を充計りり て、予後および死までの経過	<u> [</u>	<u> </u>	171台」			点から、充足度を評価します
	を丁寧に説明し、説明した内						✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし
	容や利用者等の意向等を記						て残している」場合は「よくでき
	録として残している						ている」
2. 🖠	る機関・多職種との連携						
(1)	病院・施設等との連携による円滑	で切れ目の	りないケアの	の提供			
1) ?	病院・施設等との連携や情報共有	等による	、在宅生活	への円滑が	な移行		
28	〇 病院・施設等との連携・情報		7	3	2	特に意見なし	✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移
	共有等により、病院・施設等	[具体的机	よ状況・取組				行」について、充足度を評価しま
	からの、利用者の円滑な在宅	│ │病院と連	選携して情報	報収集、共	:有を行い、		j
	生活への移行を支援してい	 退院に向	けて対応し	」ている。			✓ 例えば、「退院・退所前のカンファ
	る						レンスへの参加」、「利用者等に係
							る病院・施設等との継続した情報
							共有」などの取組が考えられます

2				
29	O すべての利用者について、緊 急時の対応方針等を、主治医 等と相談・共有することがで きている	[具体的な状況・取組内容]	特に意見なし	 ✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておくことが重要です
3	・ 地域の医療機関等との連携による	る、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の	構築	
30	○ 地域の医療機関等との連携 により、休日夜間等を含め て、すべての利用者につい て、急変時に即座に対応が可 能な体制が構築されている	[具体的な状況・取組内容] 24 時間 365 日対応出来る体制を整えてい	安心であると思います。	✓ 「即座な対応が可能な体制の構築」について、充足度を評価します

(2)	多職種との連携体制の構築					
① i	軍営推進会議等における、利用者	音のために必要となる	包括的な	サポートにつ	いての、多職種による検討	
31	用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている					 ✓ 「利用者のために必要となる、介護保険外のサービスやインフォーマルサポート等を含めたケアの提供について、多職種とともに検討・支援を行っていくなどの取組」の充足度を評価します ✓ そのような取組をしたいことがない場合は「全くできていない」 ✓ 民生委員のみでなく、自治会長や町会長などの住民代表も対象です
3. 🖹	性でも安心して暮らせるまちづくりへ	への参画				
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案				
1)	サービスの概要及び効果等の、均	也域に向けた積極的な	情報の発信	信		
32	O 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、 迅速に行われている	5 4 [具体的な状況・取約 家族様には郵送に対応し、玄関にはいつでも見て頂ける	 て見ていた 閲覧ファイ	ルを設置し	了解しました。	✓ 「誰でも見ることができる方法での情報発信」と「迅速な情報発信」 の2つの視点から、充足度を評価 します

33	Ο サービスの概要や地域にお	3 2	6 1	特に意見なし	✓ 「積極的な啓発活動」について、
	いて果たす役割等について、	 [具体的な状況・取約			評価する項目です
	正しい理解を広めるため、地	以前にチラシ配布	<u></u> の実施はあるが、	現在	✓ 例として、「チラシ等の配布」や「地
	域住民向けの積極的な啓発	は活動できていな	い為、取組んでレ	きた	域説明会の実施」などの取組が考
	活動が行われている	٧١ _°			えられます。
					✓ 利用者や職員の確保のみを目的と
					した活動等は除きます
(2)	医療 - ブの言い利田老の左宮	5の唐美州洋ナナニ	フェルナ ボ がルートレーナ	の機能の発揮	
	医療ニーズの高い利用者の在宅で 看護小規模多機能型居宅介護事業			******	
34	日	2	1 6	特に意見なし	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を併
34	護事業所の登録者以外を対	[_] [具体的な状況・取紀		一 付に思えなし	せて受けている事業所」のみが対
	象とした訪問看護を積極的	<u>「芸体的な仏が・</u> 敬和	<u>证内谷」</u>		象です。該当しない場合は、実施
	に実施している				状況欄は無記入で、「具体的な状」
					況・取組内容]欄に「指定なし」と記
					入してください
					✓ 「登録者以外を対象とした訪問看」
					護」を実施してないていない場合
					は、「全くできていない」
					✓ 「あまりできていない」~「よく
					できている」は、その「積極性」
					の視点から、充足度を評価します

2	医猩		的な受けん	\h					
35	C	「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	受け入れ			6 随時、研 いる。	資格を取りに行くのも地変でしょうが、必要なことですね。	✓	「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 「あまりできていない」~「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します
36	C	「人工呼吸器」を必要とする 要介護者を受け入れることができる体制が整っており、 積極的に受け入れている	1 <u>[具体的な</u> 整えていな	1 :状況・取組 ;い。	1 [内容]	9	特に意見なし	✓	「積極的な受け入れ」について、 充足度を評価してください 「受け入れることができる体制」 が整っていない場合は、「全くでき ていない」 「あまりできていない」~「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価します

37	O 「看取り支援」を必要とする	3	4	2	3	特に意見なし	✓ 「積極的な受け入れ」について、
	要介護者を受け入れること					141-1235 000	充足度を評価してください
	ができる体制が整っており、				、れは出来て		✓ 「受け入れることができる体制」
	積極的に受け入れている	いない。	/J C 15121	J-2177	(TOIS III)		が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」 ~「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します
)地域包括ケアシステムの構築に 「 行政の地域包括ケアシステム構築						
38	1	C. pp. 0 > 0	2	5	4	特に意見なし	✓ 「内容等の理解」について、その
	介護保険事業計画等で掲げ	 「具体的な	┘ は状況・取組	」 [内容]	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	充足度を評価します	
	ている、地域包括ケアシステ	-			ノステムの理		✓ 地域包括ケアシステムの構築にあ
	ムの構築方針や計画の内容		ていない。				たっては、その中で各々が果たす
	等について理解している						べき役割を、明確に理解すること
							が必要であるといえます
							✓ 地域包括ケアシステムの構築方針
							や計画などがない場合は、「全くで
							きていない」

2		建物等に限定しない)	地域への展開		
39	O サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	2 [具体的な状況・取組成地域への提供は少数で		特に意見なし	 ✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます ✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」
3	 安心して暮らせるまちづくりに向	 けた、関係者等への利	責極的な課題提起、改	 女善策の検討等	
40	○ 介護・看護の観点から、地域 の関係者に対し、必要に応じ て課題提起や改善策の提案 等が行われている	3 [具体的な状況・取組P 行われていない。	2 7	特に意見なし	 ✓ 「課題提起や改善策の提案等の取組」について、その充足度を評価します ✓ 今後は、サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、必要となる保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等、利用者等のみでなく地域における課題や改善策を関係者に対して提案していくなどの役割も期待されます ✓ そのような取組をしたことがない場合は、「全くできていない」

41	O 家族等や近隣住民などに対	2	<u>3</u>	5	特に意見なし	✓	「家族等や近隣住民に対する、介
	し、その介護力の引き出しや	[具体的な状況・取組	<u>内容]</u>				護力の引き出しや向上のための取
	向上のための具体的な取組	家族様に対しては行	えているが	、地域の方			組」について、その充足度を評価
	等が行われている	への取組みは今後の	課題である	00			します
						✓	今後は、利用者への家族等や近隣
							住民の関わりを促しながら、関係
							者全員の介護力を最大限に高める
							ことにより、在宅での療養生活を
							支えていくための環境を整えてい
							くなどの役割も期待されます
						✓	そのような取組をしたことがない
							場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш	結果評価			
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利用 者ごとの計画目標が達成さ れている	 はぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない [具体的な状況・取組内容]	特に意見なし	✔ 「計画目標の達成」について、評価します
2 7	在宅での療養生活の継続に対する	5安心感		
43	O サービスの導入により、利用 者およびその家族等におい て、医療が必要な状況下にお いての在宅での療養生活の 継続に対し、安心感が得られ ている	 はぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない 【具体的な状況・取組内容】 	細かく連絡をもらい安心です。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に ついて、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	O サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	 はぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない 看取りの希望者はいない [具体的な状況・取組内容]	安心ですね。	 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5.看取りの希望者はいない」

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	有限会社 なでしこ	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護 私の家なでしこ南田辺
所在地	(〒546−0033)		
	大阪市東住吉区南田辺 5-7-17		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

事業所理念「一日笑顔で過ごしましょう」を基に、皆が「笑顔」で過ごせるように努めます。 地域密着型事業所として、地域連携を大切にして地域と一体になれるように目指します。

【自己評価の実施概要】

		I	I	
事業所自己評価		従業者等自己評価		
7 A// 1 C II III		MAN TO THE		
実施日	西暦 <u>2017</u> 年 <u>9</u> 月 <u>20</u> 日	実施人数	(<u>11</u>) 人	※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 <u>2017</u> 年 <u>11</u> 月 <u>16</u> 日	出席人数(合計)	(<u>6</u>)人	※自事業所職員を含む
出席者(内訳)	□自事業所職員(_2人) □市町村職員(人)	□地域包括支援セン	/ター職員(<u>1</u> 人)	□地域住民の代表者 (1人)
HIND (1.11)()	□利用者(2人) □利用者の家族(人)	□知見を有する者(_	人) □その	他 (人)

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	並同の北美社画	実施した具体的な取組	進捗	評価
以 口	前回の改善計画	夫施 した具体的な取組 	自己評価	運営推進会議における意見等
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)				
II. サービ ス提供等 の評価 1. 利用者等の 特性・変化に応 じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ~27) 2. 多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ~31)				
3.誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項 目 32~41)				
Ⅲ. 結果評価 (評価項目 42~44)				

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

	項目	評価結果	改善計画		
I. 事業運営の評価 (評価項目 1~10)		おおよそできているとの評価が上回る。	あまりできていないと評価された項目についての取り組みを 強化する。又、策定され実施されている項目についての周知を 行なう。		
II. サービ ス提供等 の評価	1. 利用者等の 特性・変化に応 じた専門的な サービス提供 (評価項目 11 ~27)	おおよそできているとの評価が上回る。	利用者等の理解については難しい面もある為、家族との連携を深めてサービス提供を行なう。		
	2.多機関・多 職種との連携 (評価項目 28 ~31)	医療連携体制は整えているが、包括的なサポートについての連 携は行えていない。	地域包括支援センターと連携し取り組みを具体化する。		
	3.誰でも安心 して暮らせる まちづくりへ の参画(評価項 目 32~41)	あまりできていない、全くできていないとの評価が上回る。	今後、地域との連携をさらに強めて積極的に参画を行い、地域 住民との関わりを深める為に、町会へ発信していく。		
Ⅲ. 結果評 (評価項目		計画目標の達成、安心感の達成について評価される。	計画目標については、すべての利用者様について達成できるよう見直す。		

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表 [事業所自己評価・運営推進会議における評価]

	事業所自己評価							
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・	
一号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足	
	<u>★</u>							
1	事業運営の評価[適切な事業運	宮」						
(1)	理念等の明確化							
1) 3	看護小規模多機能型居宅介護の特別	寺徴を踏ま	えた理念等	い 明確化。	とその実践			
1	O サービスに求められる「①	1	6	5	0	特に意見なし	✔ ①~⑤の全てを含む理念等があ	
	医療ニーズの高い利用者の	Г П /	SILVE THE	1			る場合は「よくできている」	
	在宅生活の継続支援」、「②		<u> </u>				✓ ①~⑤の一部を含む理念等が掲	
	 在宅での看取りの支援 、				、理念に繋		げられている場合は、「おおよそ	
	「③生活機能の維持回復」、	げられて	いる。他に	こついては	強化してい		できている」もしくは「あまりで	
	「④家族の負担軽減」、「⑤	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー					きていない	
	地域包括ケアへの貢献」を						✓ 独自の理念等が明確化されてい	
	含む、独自の理念等を掲げ						ない場合は「全くできていない」	
	ている							
2	O サービスの特徴および事業	4	5	3	0	特に意見なし	✓ 「サービスの特徴および理念等	
	所の理念等について、職員	[具体的な	朮状況∙取組]内容]			を踏まえた実践」の充足度を評価	
	がその内容を理解し、実践	取り組み	についてに	 t、理念に	基づき行う		します	
	している		している。	,			✓ 独自の理念等が明確化されてい	
		8 7 7 1111					ない場合は「全くできていない」	
							(ない) からなっ 土く くさ くいない]	

			事業所				
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		() S	୍ ବ	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	V '		
(2)	人材の育成						
1 1	専門技術の向上のための取組						
3	O 職員との話し合いなどを通	3	3	5	1	特に意見なし	✓ 「育成計画の作成」の状況につい
	じて、各職員の中長期的な			1_4	_		て、充足度を評価します
	育成計画などを作成してい		<u> </u>				✓ すべての職員について育成計画
	る	OJT 策定 	し、実施し	している。			などを作成している場合は「よく
							できている」
							✓ 育成計画などを作成していない
							場合は「全くできていない」
4	O 法人内外の研修を受ける機	3	7	2	0	 特に意見なし	✓ 「専門技術の向上のための日常
	会を育成計画等に基づいて	「具体的な	↓ ↓状況·取組]内容]			業務以外での機会の確保」につい
	確保するなど、職員の専門			 互ができてい	いる。		て、充足度を評価します
	技術の向上のための日常業	, 2, , , , , ,	7112 7 7 476		•		
	務以外での機会を確保して						
	いる						
(2)	└ 介護職・看護職間の相互理解を浴	 架めろため					
5	「	4	6	2	0	 特に意見なし	✓ 「情報を共有する機会」の充足度
J	○ 月晚帆 自喷帆 月晚入坂寸	7	0			ではなり	· IH+KC六H,JAK云JVJLC反

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	5 - 1000 - 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \) The form ()
	門員の間で、職員が相互に		↓状況・取組	·			を評価します
	情報を共有する機会が、確	利用者等 	に変化があ	らった際なる	どには、適		✓ 例えば「利用者等の具体的なケー
	保されている	宜情報共	有し他職種	重と直ちに違	連携してい		スについて話し合うための、定期
		る。					的なカンファレンスの開催」など
							が考えられます
(3)	組織体制の構築	I				I	
1	運営推進会議で得られた意見等の	 D反映					
6	O 運営推進会議で得られた要	3	7	1	0	できるだけ参加できるよう	✓ 「得られた要望・助言等のサービ
	望、助言等を、サービスの提	[具体的な	↓ ↓状況•取組	 [内容]		にされていますね。	スへの反映」の視点から、充足度
	供等に反映させている	全体会議	で周知しる	 7、地域行₹	事への参加		を評価します
		など行っ		.,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		
		1,4,0,11,0	. 00				
2	職員が安心して働くことができる	る就業環境	の整備				
7	○ 職員が、安心して働くこと	2	4	6	0	特に意見なし	✔ 「職員が、安心して働くことので
	ができる就業環境の整備に	[具体的な	↓状況•取組	内容]			きる就業環境」の充足度を評価し
	努めている	各自の状	況に合わせ	せた勤務体制	制を整えて		ます
		いる。					✔ 例えば、「職員の能力向上の支
							援」、「精神的な負担の軽減のため
							の支援」、「労働時間への配慮」な

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一方	71.12.21.1	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		V '2	ଧ		V ·		 どが考えられます
							✓
(4)	情報提供・共有のための基盤整備	 带					
1) 5	利用者等の状況に係る情報の随	寺更新・共	有のための	環境整備			
8	O 利用者等の情報について、	1	9	2	0	特に意見なし	✔ 「情報の随時の更新」と「職員間
	随時更新を行うとともに、	[具体的な	↓ ↓状況·取組]内容]			で迅速に共有するための工夫」の
	必要に応じて職員間で迅速	各職種、	各担当等の)情報を、F	申し送りや		2つの視点から、充足度を評価し
	に共有できるよう工夫され	連絡ノー	トにて随時	幹更新、共 々	有をしてい		ます
	ている	る。					
(5)	安全管理の徹底						
1) 2	各種の事故に対する安全管理						
9	O サービス提供に係る利用者	3	8	1	0	いつも事故等の報告を受け	✔ 「各種の事故に対する予防・対
	等および職員の安全確保の	[具体的な	↓ ↓状況·取組]内容]		て、色々と対策をして、考え	策」の充足度を評価します
	ため、事業所においてその	ヒヤリハ	ットは元よ	 こり、事故	発生時には	 られていると思います。	対策が求められる事項としては、
	具体的な対策が講じられて	即時に報	告し、対策	きを講じてい	いる。		 例えば「医療・ケア事故の予防・
	いる				- 0		 対策」、「交通安全」、「夜間訪問時
							 の防犯対策」、「個人情報保護」な
							どが考えられます
							,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
75		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		. 3	3				
	災害等の緊急時の体制の構築						
10	O 災害などの緊急時において	1	6	4	10	特に意見なし	✓ 「緊急時におけるサービス提供
	も、サービス提供が継続で	[具体的な	状況•取組	<u></u>			のための備え」について、充足度
	きるよう、職員、利用者、関	現在 BCP	作成中				を評価します
	係機関の間で、具体的な対						✔ 例えば、「安否確認方法の明確
	応方針が共有されている						化」、「連絡先リストの作成」、「医
							療材料などの確保」、「災害時ケア
							のマニュアル化」などが考えられ
							ます
I	サービス提供等の評価						
1. ₹	利用者等の特性·変化に応じた専P	9的なサー	ビス提供				
(1)	利用者等の状況把握及びアセス	メントに基づ	づく計画のイ	作成			
1) 5	利用者等の 24 時間の暮らし全体	に着目した	こ、介護・	看護両面か	らの一体的	なアセスメントの実施	
11	O 在宅時の利用者の生活状況	0	7	5	0	特に意見なし	✔ 「家族等も含めた 24 時間の暮ら
	や家族等介護者の状況等を	[具体的な	状況∙取組	<u>l内容]</u>			し全体に着目したアセスメント」
	含む、利用者等の 24 時間の	家族から	細やかに情	青報収集し、	把握して		の充足度を評価します
	暮らし全体に着目したアセ	いる					✔ ケアが包括的に提供される看護
	スメントが行われている						小規模多機能型居宅介護におい
							ては、家族等を含めた 24 時間の

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
							暮らし全体に着目したアセスメ ントが必要となります ✓
12	O 介護職と看護職がそれぞれ の視点から実施したアセス メントの結果が、両職種の 間で共有されている	·	9 :状況・取組 を図り、井	1 内容] ・有している	<u>0</u>	特に意見なし	 ✓ 「介護職と看護職間でのアセスメント結果の共有」について、充足度を評価します ✓ 介護・看護の両面から行われたアセスメントの結果は、その後のつき合わせなどを通じて、両職種で共有されることが望ましいといえます ✓
2	_ 利用者等の「尊厳の保持と自己9	 実現の達成	 」を重視し	 た計画の(乍成		
13	O 家族を含む利用者等の考え を把握するとともに、その 目標の達成に向けた計画が 作成されている				へを反映さ	特に意見なし	✓ 「家族等の考えを含めた計画の作成」について、充足度を評価し利用者のみでなく、家族等の考えを適切に把握するとともに、その考えを含めた計画を作成することは重要であるといえます✓

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
14	〇 利用者の有する能力を最大	2	6	4	0	特に意見なし	✔ 「利用者の有する能力を活かし
	限に活かした、「心身の機能		状況•取組				た、心身機能の維持回復を重視し
	の維持回復」「生活機能の維	日常の中	で心がけ、	実施してい	いる。		た計画の作成」について、充足度
	持又は向上」を目指すこと						を評価します
	を重視した計画が作成され ている						✓ 「利用者が尊厳を持って、その有 する能力に応じ地域において自
	(, , 2)						立した日常生活を営む」ために、
							必要な視点であるといえます
							✓
3 5	利用者の今後の状況変化の予測と	と、リスク	管理を踏ま	えた計画の	の作成		
15	〇 利用者の今後の状況変化の	0	7	4	1	特に意見なし	✔ 「状況変化の予測」と「リスク管
	予測と、リスク管理を踏ま	[具体的な	状況・取組	[内容]			理」の2つの視点から、充足度を
	えた計画が作成されている	転倒、バ	ルーン管理	里、発作等、	、予測管理		評価します
		について	行っている) ₀			✓ 介護・看護が一体的に提供される
							看護小規模多機能型居宅介護に
							おいては、特に看護職による予後
							予測などを踏まえて計画を作成

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	и штх п	できて	できてい	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	3	·	, ,		することが重要です ✓
	利用者等の状況変化への迅速な						
(1) 7	継続したアセスメントを通じた、	利用者等	の状況変化	この早期把技	屋と計画への) 「	
16	O サービス提供を通じた継続	2	5	5	0	特に意見なし	✓ 「早期の把握」と「計画への適宜
	的なアセスメントにより、	[具体的な	状况•取組	<u>[内容]</u>			反映」の2つの視点から、充足度
	利用者等の状況変化を早期	早期に状	況把握出来	そているが、	早期に適		を評価します
	に把握し、計画への適宜反	宜反映出	来るよう努	Sめる。			
	映が行われている						
	居宅への訪問を含む、利用者等の		1	たアセス	メントの実施		
17	〇 通い・泊まりの利用に過度	3	5	2	1	特に意見なし	✓ 「訪問による、家族等を含めた居
	に偏らないよう、適時適切	[具体的な	¥状況·取組	<u>[内容]</u>			宅での生活状況の変化の継続的
	に利用者宅を訪問すること	月1回の	モニタリン	/グ時に、 ⁻	予定を確認		な把握」という視点から、充足度
	で、家族等を含めた居宅で	する中で	、家族様の)状況等を確	確認してい		を評価します
	の生活状況の変化を継続的	る。					✓ 訪問によるケアの提供は、家族等
	に把握している						を含めた居宅での生活状況を把

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	II IIII A I	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		NS	3	()			握するためにも重要です ✓
	利用者等の状況変化や目標の達成					##\ *	
18	〇 利用者等の状況変化や目標	2	9	1	0	特に意見なし	✓ 「利用者等の状況変化や目標の
	の達成状況等について、主	[具体的な	状況•取組	<u>[内容]</u>			達成状況等の事業所内外を含む
	治医など、事業所内外を含	体調の変	化や生活リ	ハビリのタ	効果など、		関係多職種との情報共有」につい
	む関係多職種と情報が共有	常に連携	を図り、情	「報共有して	ている。		て、充足度を評価します
	されている						
	介護職・看護職の協働による一体						
1)	介護職と看護職の相互の専門性を	を生かした	柔軟なサー	・ビスの提信	共		
19	O 介護職と看護職のそれぞれ	3	7	2	0	特に意見なし	✓ 「介護職と看護職の専門性を活
	の専門性を最大限に活かし	[具体的な	状況•取組	内容]			かした役割分担」について、充足
	ながら、柔軟な役割分担が	常時、協	働にて役害	分担して、	一体にな		度を評価します
	行われている	り、最良の	のサービス	提供に努め	めている。		✔ 介護・看護が一体的に提供される
							看護小規模多機能型居宅介護で

番号	評価項目	よく できて	おおよそ できてい	自己評価 あまりで きていな	全く できていな	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		<u>いる</u>	<u>వ</u>	\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	V1		は、効果的・効率的なサービス提供のために、各々の専門性を活かした役割分担や、業務の状況等に応じた柔軟な役割分担を行うことが重要です
20	O 利用者等の状況について、 介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が 行われている	変化や気			し 報・連・相 いる。	特に意見なし	✓ 「介護職と看護職の情報共有お よび対応策の検討」について、充 足度を評価します ✓
2	」 看護職から介護職への情報提供は	 3よび提案				<u>I</u>	
21	O 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	利用者の	7 :状況・取組 変化や状況 の発信があ	 記に応じて	青報提供な	特に意見なし	✓ 「看護職の専門性を活かした、介護職への情報提供や提案等」について、充足度を評価します ✓ このような情報提供や提案等は、看護職の専門性を活かした役割の1つとして期待されます

			事業所				
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(4):	利用者等との情報及び意識の共有	=					
1) 7	利用者等に対するサービスの趣旨	手及び特徴	等について	の情報提信	共		
22	O サービスの趣旨および特徴	3	4	5	0	特に意見なし	✔ 「利用者等の理解」について、充
	等について、分かりやすく	[具体的な	↓状況・取組	<u>l内容]</u>			足度を評価します
	説明し、利用者等の理解を	理解しや	すいように	こ分かりや	すい言葉で		✓
	得ている	説明に努	めている。				
	卯田老妹。の「左宮の原羊生	エ .)ァ <i>ド</i> ワフ	↑℃光 → → ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	3			
	利用者等への「在宅での療養生活		1	I		(七) - 去口(1)	
23	O 作成した計画の内容や在宅	1	4	5	1	特に意見なし	✓「利用者等の理解」について、充
	での療養生活の継続に向け		<u>₹状況•取組</u>) -m (++) /D		足度を評価します
	て留意すべき点等につい		すい言葉で	ご説明に努る	め理解を得		
	て、分かりやすく説明し、利	ている。					
	用者等の理解を得ている						

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
24	O 利用者等が行う医療処置や	2	3	5	1	特に意見なし	✔ 「利用者等の理解」について、充
	医療機器の取り扱い方法、		状況•取組				足度を評価します
	家族等が行うケアの提供方			分かりや	すい言葉に		✓
	法等について、分かりやす	て説明し	納得する。				
	く説明し、利用者等の理解						
	を得ている						
(3)	 重度化した場合や終末期における	 		学生との相談	 談と共有		
25	○ 利用者本人 (意思の決定・表	2	4	5	1	 特に意見なし	✓ 「サービス提供への適切な反映」
	示ができない場合は家族		└─── ' ᠺ状況・取組			141-161/11 00 0	について、充足度を評価します
	等)の希望や意向を把握し、			<u>にする。</u> は有している	る。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	サービスの提供に反映して				- 9		
	いる						

			事業所				
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
7		できて いる	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
26	O 在宅生活の継続の可否を検	0	6	4	2	特に意見なし	✔ 「将来に発生し得る様々なリス
	討すべき状況を予め想定	[具体的な	状況•取組	<u>l内容]</u>			クを想定した上での、対応策の検
	し、その際の対応方針等に	どの様な	状況となっ	っても対応、	対策を講		討と共有」について、充足度を評
	ついて、利用者等と相談・共	じること	を共有し、	安心に努る	めている。		価します
	有することができている						
07							
27	O 終末期ケアにおいて、利用	1	3	3	4	特に意見なし	✓「予後および死までの経過の説
	者等に適切な時期を見計ら		<u> </u>		1□ ≃→ 사⊐ .>.		明」と「記録の有無」の2つの視
	って、予後および死までの			制定し説明	明、記録を		点から、充足度を評価します
	経過を丁寧に説明し、説明 した内容や利用者等の意向	残してい	る。				✓ 「丁寧に説明し」且つ「記録とし
	等を記録として残している						て残している」場合は「よくできている」
	守て記跡(こして)女し(いる)						(4.2)

番号	評価項目	よく できて いる	事業所 おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
2	多機関・多職種との連携						
	^{多機関・多機性との連携} 病院・施設等との連携による円滑	575t∏th ⊟0	りかいケマク	カ担供			
-	病院・施設等との連携や情報共				 か移行		
28	O 病院・施設等との連携・情報 共有等により、病院・施設等 からの、利用者の円滑な在 宅生活への移行を支援して いる	特に意見なし	 ✓ 「利用者の円滑な在宅生活への移行」について、充足度を評価します ✓ 例えば、「退院・退所前のカンファレンスへの参加」、「利用者等に係る病院・施設等との継続した情報共有」などの取組が考えられます ✓ 				
2	入院・入所の可能性がある利用を	皆について	の、主治医	等との対応	芯方針の共有	Ī	
29	○ すべての利用者について、 緊急時の対応方針等を、主 治医等と相談・共有するこ とができている	都度連携		 閉変化につい	1 いては、詳 有出来てい	特に意見なし	✓ 「緊急時の対応方針等の主治医等との相談・共有」を評価します ✓ 利用者の状態変化・家族等介護者の状況の変化など、実際に発生する前の段階から予め対応方針等を主治医等と相談・共有しておく

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	н ш ЛП	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	<u> </u>	V1	V		ことが重要です
		人		ヨ <i>た</i> か) ァ ユ L r ナ っ		N###	
	地域の医療機関等との連携による						
30	〇 地域の医療機関等との連携	5	6	1	0	安心な体制だと思います。	┃ ✓ 「即座な対応が可能な体制の構
	により、休日夜間等を含め	[具体的な	状況・取組	<u>[内容]</u>			築」について、充足度を評価しま
	て、すべての利用者につい	2 4 時間	、365⊨	対応でき	る体制を整		す
	て、急変時に即座に対応が	えている	0				✓
	可能な体制が構築されてい						
	る						
(2)	多職種との連携体制の構築						
1 3	運営推進会議等における、利用者	皆のために	必要となる	包括的な	サポートに~	Oいての、多職種による検討	
31	O 運営推進会議等において、	2	1	5	3	これから増やしていきまし	✔ 「利用者のために必要となる、介
	利用者のために必要と考え	[具体的な	状況・取組	 [内容]		よう。	護保険外のサービスやインフォ
	られる包括的なサポートに	運営推進	会議にて情	青報共有は行	うわれてい		ーマルサポート等を含めたケア
	ついて、民生委員・地域包括	るが、今後	後取り組み	を増やして	いきたい。		の提供について、多職種とともに
	支援センター・市区町村職						検討・支援を行っていくなどの取
	員等への情報提供や提案が						組」の充足度を評価します
	 行われている						✓ そのような取組をしたいことが
							ない場合は「全くできていない」

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
号	HI IIM XVE	できて いる	できている	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		V . W	~	V.	, ,		✓ 民生委員のみでなく、自治会長や 町会長などの住民代表も対象で す✓
3.	誰でも安心して暮らせるまちづくりっ	への参画					
(1)	地域への積極的な情報発信及び	提案					
1	サービスの概要及び効果等の、均	地域に向け	た積極的な	情報の発信	言		
32	O 運営推進会議の記録につい	4	5	1	1	良いことですね。	✔ 「誰でも見ることができる方法
	て、誰でも見ることができ	[具体的な	は状況・取組	 .内容]			での情報発信」と「迅速な情報発
	るような方法での情報発信	玄関にフ	アイル設置	置し、家族村	兼には郵送		信」の2つの視点から、充足度を
	が、迅速に行われている	にて、職	員には閲覧	ファイルに	こて発信。		評価します
33	O サービスの概要や地域にお	2	4	3	3	協力しながら活動していき	✔ 「積極的な啓発活動」について、
	いて果たす役割等につい	[具体的な	↓状況・取組	内容]		ましょう。	評価する項目です
	て、正しい理解を広めるた	町会への	協賛をはじ	じめ、これが	から積極的		✔ 例として、「チラシ等の配布」や
	め、地域住民向けの積極的	に活動し	ていきたい	\ ₀			「地域説明会の実施」などの取組
	な啓発活動が行われている						が考えられます。
							✔ 利用者や職員の確保のみを目的
							とした活動等は除きます

			事業所	自己評価			
番号	評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
方		できて	できてい る	きていない	できていない	コメント記入欄	評価にあたっての補足
(2)	医療ニーズの高い利用者の在宅	での療養生	活を支える	6、地域拠点	えとしての機能	能の発揮	√
1) 3	看護小規模多機能型居宅介護事業	業所の登録	者以外を含	む、地域~	への訪問看護	夢 の積極的な提供	
34	O 看護小規模多機能型居宅介	0	0	4	7	特に意見なし	✓ 「指定訪問看護事業所の指定を
	護事業所の登録者以外を対	[具体的な	状況•取組	<u>[内容]</u>			併せて受けている事業所」のみが
	象とした訪問看護を積極的	指定なし。)				対象です。該当しない場合は、実
	に実施している						施状況欄は無記入で、[具体的な
							状況・取組内容]欄に「指定なし」
							と記入してください
							✓ 「登録者以外を対象とした訪問
							看護」を実施してないていない場
							合は、「全くできていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よく
							できている」は、その「積極性」
							の視点から、充足度を評価します
2	医療ニーズの高い要介護者の積極						
35	O 「たん吸引」を必要とする	0	0	4	7	特に意見なし	✓ 「積極的な受け入れ」について、
	要介護者を受け入れること	[具体的な	状況•取組	[内容]			充足度を評価してください
	ができる体制が整ってお	整っている	ない。受け	[†] 入れの為、	順次研修		✓ 「受け入れることができる体制」
	り、積極的に受け入れてい	受講し、	資格者を増	やしている	ప ం		が整っていない場合は、「全くで
	る						きていない」

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号		できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		<u>いる</u>	<u></u>	\(\cdot	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		✓ 「あまりできていない」~「よく できている」は、その「積極性」 の視点から、充足度を評価しま
36	〇 「人工呼吸器」を必要とす	0	4	4	4	特に意見なし	✔ 「積極的な受け入れ」について、
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	体制なし	□状況•取組 。	 内容]			 充足度を評価してください ✓ 「受け入れることができる体制」が整っていない場合は、「全くできていない」 ✓ 「あまりできていない」~「よくできている」は、その「積極性」の視点から、充足度を評価します ✓
37	O 「看取り支援」を必要とす	1	7	0	4	特に意見なし	✓ 「積極的な受け入れ」について、
	る要介護者を受け入れるこ	[具体的な	よ状況•取組	<u>l内容]</u>	1		充足度を評価してください
	とができる体制が整ってお	研修、マ	 ニュアル等	・ 体制あり	0 。		✔ 「受け入れることができる体制」
	り、積極的に受け入れてい						が整っていない場合は、「全くで
	る						きていない」
							✓ 「あまりできていない」~「よく」
							できている」は、その「積極性」
							の視点から、充足度を評価します
							✓

番号	評価項目		事業所! おおよそ できてい る	自己評価 あまりで きていな い	全く できていな い	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
<u> </u>	地域包括ケアシステムの構築に		,				
<u> </u>	行政の地域包括ケアシステム構築				_	はつまずロなり	
38	○ 管理者および職員が、行政 が介護保険事業計画等で掲 げている、地域包括ケアシ ステムの構築方針や計画の 内容等について理解してい る	1 [具体的な状 すべての職」 い。			ち出来ていな	特に意見なし	 ✓「内容等の理解」について、その 充足度を評価します ✓ 地域包括ケアシステムの構築に あたっては、その中で各々が果た すべき役割を、明確に理解することが必要であるといえます ✓ 地域包括ケアシステムの構築方針や計画などがない場合は、「全くできていない」
2	サービス提供における、(特定の	建物等に限定	ミしない)	地域への	展開		
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	1 [具体的な状 集合住宅++ 数である。			4 いるが、少	特に意見なし	✓ 「特定の集合住宅等に限定しない、地域への積極的な展開」について、充足度を評価します ✓ 看護小規模多機能型居宅介護は、特定の集合住宅等に限定することなく、地域全体の在宅療養を支える核として機能していくことが期待されます

		事業所	自己評価			
評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
	_		きていない	できていな い	コメント記入懶	評価にあたっての補足
		-				✓ 特定の集合住宅等のみを対象としている場合は「全くできていない」✓
安心して暮らせるまちづくりに「「	句けた、関	係者等への)積極的な記	果題提起、改	女善策の検討等	
O 介護・看護の観点から、地	1	2	2	7	特に意見なし	✔ 「課題提起や改善策の提案等の
域の関係者に対し、必要に	[具体的な	↓状況・取組	<u>l内容]</u>			取組」について、その充足度を評
応じて課題提起や改善策の	全く出来	ていない。				価します
提案等が行われている						✔ 今後は、サービスの提供等を通じ
						て得た情報や知見、多様な関係者
						とのネットワーク等を活用し、必
						要となる保険外サービスやイン
						フォーマルサービスの開発・活用
						等、利用者等のみでなく地域にお
						ける課題や改善策を関係者に対
						して提案していくなどの役割も
						期待されます
						✔ そのような取組をしたことがな
						い場合は、「全くできていない」
O 家族等や近隣住民などに対	1	3	1	7	地域に対してはこれからで	✔ 「家族等や近隣住民に対する、介
し、その介護力の引き出し	[具体的な	↓状況・取組	<u>l内容]</u>		すね。	護力の引き出しや向上のための
や向上のための具体的な取	家族に対	しては行っ	ている。			取組」について、その充足度を評
組等が行われている						価します
						✔ 今後は、利用者への家族等や近隣
						住民の関わりを促しながら、関係
	安心して暮らせるまちづくりに「O介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	安心して暮らせるまちづくりに向けた、関	 評価項目 よくできている なみして暮らせるまちづくりに向けた、関係者等へのの介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている 収入の提案等が行われている ○家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取る (具体的な状況・取組を対しては行きを対します。 	 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な記の介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている ○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取家族に対しては行っている。 	おおよそ できていな できていな い	

			事業所	自己評価			
番号	 評価項目	よく	おおよそ	あまりで	全く	運営推進会議における評価	評価の視点・
一号	FIM XE	できて	できてい	きていな	できていな	コメント記入欄	評価にあたっての補足
		いる	<u> </u>	()	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		
							者全員の介護力を最大限に高め
							ることにより、在宅での療養生活
							を支えていくための環境を整え
							ていくなどの役割も期待されま
							†
							✔ そのような取組をしたことがな
							い場合は、「全くできていない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ш				
1	計画目標の達成			
42	O サービスの導入により、利 用者ごとの計画目標が達成 されている	 ほぼ全ての利用者について、達成されている 利用者の2/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3くらいについて、達成されている 利用者の1/3には満たない 【具体的な状況・取組内容】 通いサービスにおけるレクリエーション実施や、夜間訪問等による目標は達成されている。 	特に意見なし	✓ 「計画目標の達成」について、評価 します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
② 7 43	在宅での療養生活の継続に対する O サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている		安心して頂ける事が一番ですね。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用 者およびその家族等に対し、サービ スの提供により実現された「医療が 必要な状況下においての、在宅での 療養生活の継続に対する安心感」に ついて、評価します
44	O サービスの導入により、在 宅での看取りを希望する利 用者およびその家族等にお いて、在宅での看取りに対 する安心感が得られている	 1. ほぼ全ての利用者について、達成されている 2. 利用者の2/3くらいについて、達成されている 3. 利用者の1/3くらいについて、達成されている 4. 利用者の1/3には満たない 5. 看取りの希望者はいない 	最後まで見て頂けるのは 安心ですね。	 ✓ 在宅での看取りを希望する利用者 およびその家族等に対し、サービス の提供により実現された「在宅での 看取りに対する安心感」について、 評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内(通い・

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		[具体的な状況・取組内容] 契約時に重度化の指針にて説明。最後まで見て頂ける事は安心との声を頂く。		泊まり)での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない 場合は、「5. 看取りの希望者はいない」